ファーストステップガイド

本製品は、新規
ご購入ハードウェア
の添付品です

Microsoft® Windows® 95

For Distribution only with a new PC

Certificate of Authenticity

This Certificate is your assurance that the software you obtained with your computer system is legally licensed from Microsoft Corporation. If you have concerns about the legitimacy of this Certificate or the software, call the Microsoft Piracy Hotline 800-RULEGIT (in the U.S. or Canada), or contact your local Microsoft sales office. For product support, contact the manufacturer of your computer system.

FOR DISTRIBUTION ONLY WITH NEW PC HARDWARE.

The continuous and interwoven metallic thread above indicates that this product is genuine Microsoft software.

Microsoft

AUGUSTA ADA BYRON - PIONEER IN COMPUTER PROGRAMMING.

Product ID:12697-OEM-0022235-08171

* 2 2 2 3 0 8 1 7 1 *

PN 000-31904

マイクロソフト ソフトウェア使用許諾契約書

MICROSOFT® WINDOWS® 95

重要 — 以下のライセンス契約書を注意してお読みください。本使用許諾契約書 (以下「契約書」) は、お客様 (個人または法人) と上記に示されたマイクロソフト ソフトウェア製品 (以下「ソフトウェア製品」 または「ソフトウェア」) をあわせて取得したコンピュータ システム (以下「コンピュータ」) の製造者 (PC 製造者) との間に締結される法的な契約書です。ソフトウェア製品が新しいコンピュータ システムに付随していない場合、ソフトウェア製品を使用または複製することはできません。ソフトウェア製品は、コンピュータ ソフトウェア、それに関連した媒体、印刷物 (マニュアルなどの文書) 、ならびに「オンライン」または電子文書を含みます。ソフトウェア製品をインストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約書の条項に拘束されることに承諾されたものとします。本契約書の条項に同意できない場合、PC 製造者およびマイクロソフトは、お客様にソフトウェア製品を許諾しかねます。そのような場合、お客様はソフトウェア製品を使用あるいは複製できません。未使用の製品についての代金の返還手続きに関しては PC 製造者に速やかにご連絡ください。

ソフトウェア製品ライセンス

ソフトウェア製品は、著作権法および国際著作権条約をはじめ、そのほかの無体財産権に関する法律および条約ならびにその条約によって保護されています。ソフトウェア製品は許諾されるもので、販売されるものではありません。

1. **ライセンスの許諾**　本契約書はお客様に以下の権利を許諾します。

- **ソフトウェア**　お客様は、ソフトウェア製品のコピー 1 部を 1 台のコンピュータにインストールして使用することができます。
- **ネットワーク サービス**　ソフトウェア製品がコンピュータをネットワーク サーバーとして機能させる機能を有する場合、コンピュータまたはワークステーションは、何台でもそのサーバーの基本ネットワーク サービスを呼び出しまたは利用することができます。基本ネットワーク サービスについては、ソフトウェア製品の付属のマニュアルなどの文書に詳細に説明されています。
- **記憶装置/ネットワークの使用**　お客様は、ほかのコンピュータが内部ネットワークでソフトウェア製品を使用できるように、ソフトウェア製品のコンピュータ ソフトウェアの部分をコンピュータに蓄積またはインストールすることもできます。また、内部ネットワークでソフトウェア製品をお客様のほかのコンピュータに頒布することもできます。ただし、ソフトウェア製品が使用または頒布されている各々のコンピュータのソフトウェア製品について、専用のライセンスを取得しなければなりません。ソフトウェア製品に対する 1 つのライセンスを異なるコンピュータ間で共有したり同時に使用することはできません。
- **オペレーティングシステムの選択**　PC 製造者は、コンピュータに対するマイクロソフト オペレーティングシステム ソフトウェアの選択をお客様に提供する場合があります。ソフトウェア製品が Windows 95 と「代替的マイタロソフト オペレーティングシステム」((a) Windows for Workgroups、(b) MS-DOS および Windows、(c) MS-DOS オペレーティングシステムおよび Windows for Workgroups オペレーティングシステム、または (d) Windows オペレーティングシステムのいずれか 1 つ) の両方を含んでいる場合、お客様は提供されているマイクロソフト オペレーティングシステムの中から 1 つだけ選択して使用することが許諾されます。ソフトウェアのセットアップ過程の一部分として、お客様には Windows 95 か代替的マイクロソフト オペレーティングシステムのどちらかを選択できる一度だけのオプションが与えられます。選択されたマイクロソフト オペレーティングシステムは、選択された時点でコンピュータにセットアップされ、お客様が選択しなかったそのほかのマイクロソフト オペレーティングシステムは、自動的にかつ恒久的にコンピュータのハードディスクより消去されます。
- **バックアップ ユーティリティ**　PC 製造者が、ソフトウェア製品のバックアップの複製物をコンピュータに含んでいない場合、お客様はマイクロソフト バックアップ ユーティリティを使用することができます。バックアップの複製物がソフトウェア製品とともに含まれている場合は、そのバックアップの複製物を 1 部に限り作成するためにマイクロソフト バックアップ ユーティリティを使用することができます。また、お客様は記録保管のみを目的として、バックアップの複製物を使用することができます。バックアップの複製物 1 つが作成されると、バックアップ ユーティリティは恒久的に操作不可能となります。

2. そのほかの権利および制限の説明

- **リバースエンジニア、逆コンパイル、逆アセンブルの制限**　お客様は、ソフトウェア製品をリバースエンジニア、逆コンパイル、または逆アセンブルすることはできません。
- **構成部分の分離**　ソフトウェア製品は1つの製品として許諾されています。その構成部分を複数のコンピュータでの使用のために分離することはできません。
- 1つのコンピュータソフトウェア製品は、1つの統合された製品としてコンピュータとともに許諾されています。ソフトウェア製品は、コンピュータとともにのみ使用することができます。
- **貸与**　お客様はソフトウェア製品を貸与またはリースすることはできません。
- **ソフトウェアの譲渡**　お客様は、本契約に基づいて、コンピュータの売却または譲渡の一部としてお客様のすべての権利を恒久的に譲渡することができます。ただしその場合、複製物を保有することはできず、ソフトウェア製品の一切 (すべての構成部分、媒体、マニュアルなどの文書、アップグレード、本契約書、およびあてはまる場合には Certificate of Authenticity を含みます) を譲渡し、かつ受取人が本契約書の条項に同意することを条件とします。ソフトウェア製品がアップグレードである場合、譲渡はソフトウェア製品の以前のバージョンもすべて含んだものでなければなりません。
- **解除**　お客様が本契約書の条項および条件に違反した場合、マイクロソフトまたはPC製造業者は、ほかの権利を害することなく本契約を解除することができます。そのような場合、お客様はソフトウェア製品の複製物およびその構成部分をすべて破棄しなければなりません。

3. **アップグレード**　ソフトウェア製品が別の製品のアップグレードである場合、それがマイクロソフトからのもの、あるいは別の供給者からのものであっても、そのアップグレードされた製品を破棄しない限り、その製品とともにのみ、ソフトウェア製品を使用または譲渡することができます。ソフトウェア製品がマイクロソフト製品のアップグレードである場合、本契約にしたがった方法でのみ、そのアップグレードされた製品を使用することができます。ソフトウェア製品が、お客様が1つの製品としてライセンスを取得したプログラム パッケージの構成部分のアップグレードである場合、そのソフトウェア製品は、その1つの製品パッケージの部分としてのみ使用および譲渡することができ、複数のコンピュータでの使用のために分離することはできません。

4. **著作権**　ソフトウェア製品 (ソフトウェアに組み込まれたイメージ、写真、アニメーション、ビデオ、音声、音楽、テキスト、「アプレット」を含みますが、それだけに限りません。)、付属のマニュアルなどの文書、およびソフトウェア製品の複製物についての権原および著作権は、マイクロソフトまたはその供給者が有するもので、ソフトウェア製品は著作権法および国際条約の規定によって保護されています。お客様は、ソフトウェア製品に付属のマニュアルなどの文書を複製することはできません。

5. **デュアルメディア ソフトウェア**　お客様は、複数種類の媒体によってソフトウェア製品を受け取ることがあります。受け取る媒体の種類やサイズにかかわらず、お客様の1台のコンピュータに適する媒体を1つだけ使用することができ、別のコンピュータ上でもうひとつの媒体を使用またはインストールすることはできません。また、ソフトウェア製品の (上記に規定された) 恒久的な譲渡の場合を除いては、残りの媒体を別のユーザーに貸与、リースあるいは譲渡することはできません。

6. **製品サポート**　ソフトウェア製品の製品サポートは、マイクロソフト コーポレーションまたはその子会社が提供するものではありません。製品サポートに関しては、コンピュータのマニュアルなどの文書にある PC 製造者のサポート番号をご参照ください。また、本契約に関してのご質問、またはそのほかの理由による PC 製造者へのご連絡には、コンピュータのマニュアルなどの文書にある住所をご参照ください。

お客様の特定法域に関する制限付品質保証責任および特別条項については、本パッケージに含まれている、あるいはソフトウェア製品のマニュアルなどの文書と一緒に提供されている品質保証責任のパンフレットをご参照下さい。

ファーストステップ ガイド

Microsoft® Windows® 95

Microsoft® Windows® 95 Operating System

製品サポートに関しては、コンピュータのマニュアルなどの文書にある PC 製造者のサポート番号をご参照ください。

Microsoft Corporation

ご注意

1. このソフトウェアの著作権は、米国 Microsoft Corporation にあります。
2. このソフトウェアおよびマニュアルの一部または全部を無断で使用、複製することはできません。
3. ソフトウェアは、コンピュータ 1 台につき 1 セット購入が原則となっております。
4. このソフトウェアおよびマニュアルは、本製品の使用許諾契約書のもとでのみ使用することができます。
5. このソフトウェアおよびマニュアルを運用した結果の影響については、いっさい責任を負いかねますのでご了承ください。
6. このソフトウェアの仕様、およびマニュアルに記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。

MS-IME95 用基本語辞書 (MSIME95R.DIC) の作成に際しましては、稲永紘之先生 (九州芸術工科大学) のご協力をいただきました。

Document No.000-33525
Printed in Japan(14)
J213-01

目次

キーボード対応表

このマニュアルでは、キーの操作を説明するときに、どの機種のキーボードにも対応する一般的なキー表記を採用しています。このようなキー表記のことをジェネリック キー表記といいます。実際のキーボードのキーの表示がジェネリック キー表記と異なる場合は、次のキーボード対応表に従って、キーの読み替えを行ってください。

ジェネリック キー表記	NEC PC9800 シリーズ 98NOTE	106日本語	IBM PS/55 5576-002/003	IBM PS/55 5576-001
Esc	[ESC]	[Esc]	[Esc]	[Esc]
Tab	[TAB]	[Tab ⭾]	[⭾]	[⭾]
Ctrl	[CTRL]	[Ctrl]	[Ctrl]	[Ctrl]
CapsLock	[CAPS]	[⇧ Shift] +[Caps Lock 英数]	[⇧] +[Caps Lock 英数]	[前面キー] +[英数]
NumLock	[HOME CLR]*1	[Num Lock]	[⇧] +[NumLk ScrLk]	[⇧] +[文章 リスト ScrLk]
ScrollLock	[vf･5]*1	[Scroll Lock]	[NumLk ScrLk]	[文章 リスト ScrLk]
Pause		[Pause]	[Pause]	[Pause]
Shift	[SHIFT]*2	[⇧ Shift]	[⇧]	[⇧]
Alt	[GRPH]	[Alt]	[前面キー]	[前面キー]
Space	[スペース]	[ ]	[スペース]	[スペース]
Enter	[⏎]	[Enter ↵]	[Enter 改行]	[改行 ↵]
BackSpace	[BS]	[Back space]	[後退]	[後退]
Ins	[INS]	[Insert]	[挿入]	[挿入]
Del	[DEL]	[Delete]	[削除]	[削除]
Home	[HOME CLR]	[Home]	[Home]	[⇱]
End	[HELP]	[End]	[End]	[ページ 呼出し ↙]
PageDown	[ROLL UP]	[Page Down]	[次ページ]	[次ページ]
PageUp	[ROLL DOWN]	[Page Up]	[前ページ]	[前ページ]

*1 ユーザー補助機能の使用時のキー設定です。

*2 ユーザー補助機能で、ショートカット キーを使って固定キーを有効にする場合は、[NFER] キーになります。

ジェネリック キー表記	101英語	AX日本語	東芝 ノートブック	東芝 デスクトップ
Esc	[Esc]	[Esc]	[Esc]	[Esc]
Tab	[Tab ↹]	[Tab]	[↹]	[Tab ↹]
Ctrl	[Ctrl]	[Ctrl]	[Ctrl]	[Ctrl]
CapsLock	[Caps Lock]	[Caps Lock]	[Caps Lock]	[Caps Lock]
NumLock	[Num Lock]	[Num Lock]	[Num Lock]	[Num Lock]
ScrollLock	[Scroll Lock]	[Scroll Lock]	[Scroll Lock]	[Scroll Lock]
Pause	[Pause]	[Pause]	[Pause]	[Pause]
Shift	[⇧ Shift]	[Shift]	[⇧ Shift]	[⇧ Shift]
Alt	[Alt]	[Alt]	[Alt]	[Alt]
Space	[ ]	[ ]	[ ]*3	[ ]*3
Enter	[Enter ↵]	[Enter]	[Enter ↵]	[Enter ↵]
BackSpace	[Backspace]	[Back space]	[⇐]	[←]
Ins	[Insert]	[Insert]	[Ins]	[Insert]
Del	[Delete]	[Delete]	[Del]	[Delete]
Home	[Home]	[Home]	[Home]	[Home]
End	[End]	[End]	[End]	[End]
PageDown	[Page Down]	[Page Down]	[PgDn]	[Page Down]
PageUp	[Page Up]	[Page Up]	[PgDn]	[Page Up]

*3　漢字キーがオフのときは、**Space** キーの役割をします。

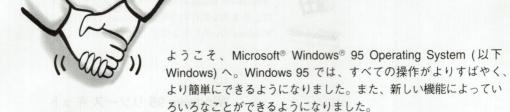
ジェネリック キー表記	NEC PC9800シリーズ 98NOTE	106日本語	IBM PS/55 5576-002/003	IBM PS/55 5576-001
Ctrl+Break	[STOP]	[Ctrl]+[Pause]	[Ctrl]+[Pause]	[Ctrl]+[Pause]
PrintScreen	[COPY]	[Print Screen]	[ページ 印刷]	[ページ 印刷]
↑	[↑]	[↑]	[↑]	[↑]
↓	[↓]	[↓]	[↓]	[↓]
←	[←]	[←]	[←]	[←]
→	[→]	[→]	[→]	[→]
F1	[f·1]	[F1]	[F1]	[F1]
F2	[f·2]	[F2]	[F2]	[F2]
F3	[f·3]	[F3]	[F3]	[F3]
F4	[f·4]	[F4]	[F4]	[F4]
F5	[f·5]	[F5]	[F5]	[F5]
F6	[f·6]	[F6]	[F6]	[F6]
F7	[f·7]	[F7]	[F7]	[F7]
F8	[f·8]	[F8]	[F8]	[F8]
F9	[f·9]	[F9]	[F9]	[F9]
F10	[f·10]	[F10]	[F10]	[F10]
F11	[vf·1] または [GRPH]+[f·1]	[F11]	[F11]	[F11]
F12	[vf·2] または [GRPH]+[f·2]	[F12]	[F12]	[F12]
漢字	[XFER] または [CTRL]+[XFER]	[Alt] +[半角/ 全角]	[⇧] +[漢字 カタカナ]	[漢字]
変換	[スペース] または [XFER]	[前候補 変換(次候補)] または [　]	[前候補 変換(次候補)] または [スペース]	[前候補 変換(次候補)] または [スペース]
無変換	[NFER]	[無変換]	[無変換]	[無変換]
カナ	[カナ]	[Ctrl] +[⇧ Shift] +[カタカナ ひらがな] [*4]	[Ctrl] +[漢字 カタカナ]	[Ctrl] +[カタカナ]

*4 標準では、[106 日本語 (A01) キーボード (Ctrl + 英数)] がインストールされます。その場合は、[Ctrl] + [英数] になります。

ジェネリック キー表記	101英語	AX日本語	東芝 ノートブック	東芝 デスクトップ
Ctrl+Break	[Ctrl]+[Pause]	[Ctrl]+[Pause]	[Ctrl]+[Break]	[Ctrl]+[Break]
PrintScreen	[Print Screen]	[Print Screen]	[PrtSc]	[Print Screen]
↑	[↑]	[↑]	[↑]	[↑]
↓	[↓]	[↓]	[↓]	[↓]
←	[←]	[←]	[←]	[←]
→	[→]	[→]	[→]	[→]
F1	[F1]	[F1]	[F1]	[F1]
F2	[F2]	[F2]	[F2]	[F2]
F3	[F3]	[F3]	[F3]	[F3]
F4	[F4]	[F4]	[F4]	[F4]
F5	[F5]	[F5]	[F5]	[F5]
F6	[F6]	[F6]	[F6]	[F6]
F7	[F7]	[F7]	[F7]	[F7]
F8	[F8]	[F8]	[F8]	[F8]
F9	[F9]	[F9]	[F9]	[F9]
F10	[F10]	[F10]	[F10]	[F10]
F11	[F11]	[F11]	[F11]	[F11]
F12	[F12]	[F12]	[F12]	[F12]
漢字	[Alt] +[~ 、]	[漢字]	[漢字]	[漢字]
変換	[ ]	[変換]	[ ][*5]	[ ][*5]
無変換		[無変換]		
カナ	[Shift] +[Ctrl] +[Caps Lock]	[Ctrl] +[Shift] +[英数カナ]	[カナ]	[カナ]

[*5] 漢字キーがオンのときは、変換キーの役割をします。

はじめに

ようこそ、Microsoft® Windows® 95 Operating System (以下 Windows) へ。Windows 95 では、すべての操作がよりすばやく、より簡単にできるようになりました。また、新しい機能によっていろいろなことができるようになりました。

このガイドでは、Windows の全体像を簡単に紹介します。基本的な操作の手順と使い方のヒントを示し、さらに、Windows の新しい機能や楽しい使い方を紹介します。

Windows についてさらに詳しく調べたり、技術的な情報を探したりするには、次の「必要な情報の探し方」を参照してください。ほかの情報源の紹介があります。

必要な情報の探し方

ファースト ステップ ガイド (本書)

『Microsoft Windows 95 ファースト ステップ ガイド』では、基本的な操作の手順、Windows の全体像、および Windows のいろいろな機能について説明しています。

Windows 95 リソース キット (別売)

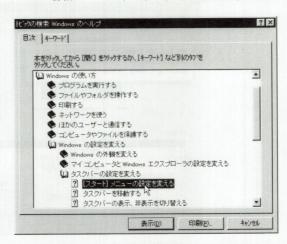
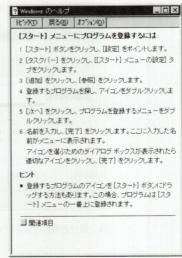
『Microsoft Windows 95 リソース キット』には、Windows の技術情報や、ネットワーク管理者のための情報が載っています。『Windows 95 リソース キット』は、書店で購入できます。

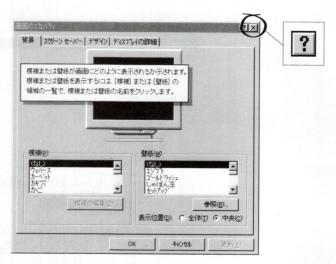
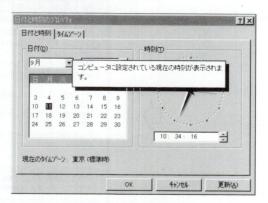
SETUP.TXT

SETUP.TXT ファイルには、セットアップに関する追加の情報や、セットアップのときに起きた問題の解決方法の説明などが載っています。

操作手順のヘルプ

ヘルプは、Windows の主要な情報源です。基本的な操作の手順は、[目次] 画面から調べます。ほかの項目は、[キーワード] 画面から探します。ヘルプを起動するには、[スタート] ボタンをクリックし、[ヘルプ] をクリックします。

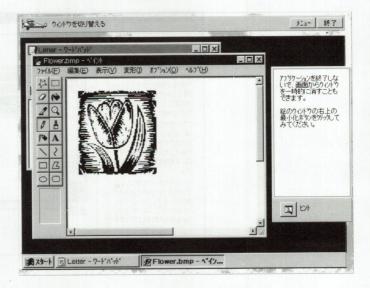
ヘルプの詳細については、「第 1 章 基本的な操作」を参照してください。

画面上の項目のヘルプ

ウィンドウの右上に [?] ボタンが付いている場合、このボタンを使うと、ウィンドウの中の項目の説明を表示できます。表示するには、[?] ボタンをクリックし、目的の項目をクリックします。または、目的の項目をマウスの右ボタンでクリックし、[ヘルプ] をクリックします。

▲ [画面のプロパティ] ダイアログ ボックス

▲ [日付と時刻のプロパティ] ダイアログ ボックス

Windows 入門

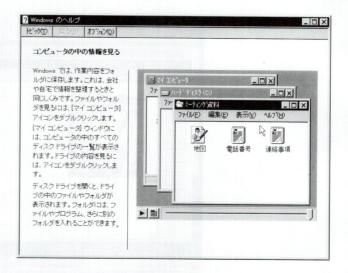
Windows 入門を実行すると、画面に表示されるガイドに従って進みながら、Windows の使い方を体験し、基本的な操作を実習できます。Windows 入門を起動するには、ヘルプの [目次] 画面で「Windows 入門」をダブルクリックします。(Windows 入門は、お買い求めのパッケージやシステムによっては、含まれていないことがあります。)

Windows 入門のメニューには、次の項目があります。

- アプリケーションを使う
- ディスクの中を見る
- ファイルを検索する
- ウィンドウを切り替える
- ヘルプを使う

オンライン ユーザーズ ガイド

オンライン ユーザーズ ガイドでは、Windows の基本的な操作をアニメーションや図解でわかりやすく見ることができます。オンライン ユーザーズ ガイドは、セットアップすると、Windows のヘルプに追加されます。(オンライン ユーザーズ ガイドは、お買い求めのパッケージやシステムによっては、含まれていないことがあります。)

ヘルプを起動すると、[目次] 画面の「Windows の基礎知識」の中に、次の項目が表示されます。

- 基本的な操作
- 情報ハイウェイへようこそ
- Windows の設定を変える
- ショートカット キー

マウスの使い方

画面上の項目を選ぶ

画面に表示されているアイコン、ボタン、メニューなどの項目を選ぶには、まず、項目の上にマウス ポインタを置きます (ポイント)。次に、マウスのボタンをクリックし、項目を操作の対象として選びます。

マウス ポインタの移動

平らな場所でマウスを動かすと、マウス ポインタが画面上を移動します。マウスを動かす場所がなくなったら、一度マウスを持ち上げて、動かしやすい場所に置き直します。

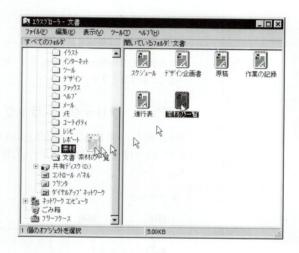
ポイント、クリック、ドラッグ

マウス ポインタを移動し、項目の上にポインタの先端を置くことを、"ポイント" といいます。項目をポイントした後で、次の操作を行うことができます。

- クリック

操作	説明
	クリック: マウスの左ボタンを 1 回押して離します。
	ダブルクリック: マウスの左ボタンを続けて 2 回、すばやく押して離します。
	右ボタンでクリック: マウスの右ボタンを 1 回押して離します。

- ドラッグ

  別の場所に項目を移動するには、まず、目的の項目をポイントします。次に、マウスの左ボタンまたは右ボタンを押したまま、マウスを動かして移動先をポイントし、マウスのボタンを離します。文字列や、ウィンドウの中のいろいろな情報を選択する場合も、ドラッグの操作を行います。詳細については、Windows をセットアップした後に、ヘルプの [キーワード] 画面で「ドラッグ アンド ドロップ」を検索し、説明を参照してください。

注 Windows のマニュアルやヘルプは、ユーザーがマウスをお使いであること、および右ききであることを前提として書かれています。左ききの方の場合は、マウスの左右のボタンの役割を取り替えることができます。詳細については、Windows をセットアップした後に、ヘルプの [キーワード] 画面で「役割を取り替える, マウスのボタン」を検索し、説明を参照してください。ペン デバイスをお使いの場合は、ペンの "タップ" がマウスの "クリック" に相当します。

Windows 95 のセットアップ

Windows 95 のセットアップは、画面に表示される指示に従って対話式で進めることができるので、簡単に実行できます。しかし、オペレーティング システムを更新する場合は、エラーが起きる可能性を常に考慮しておく必要があります。ハードウェアに互換性がなかったり、電源に障害が起きたりすると、一時的にデータにアクセスできなくなったり、データが失われたりすることがあります。

このため、セットアップを実行する前に、いくつかの準備作業を行う必要があります。また、セットアップの手順の概要を理解しておくと、作業がスムーズになります。

ここでは、セットアップの準備作業と、セットアップの手順、および作業の流れについて説明します。

これまで使っていたファイルのバックアップ

Windows 95 をセットアップする前に、次のシステム ファイルを必ずバックアップしておいてください。

- WINDOWS ディレクトリにある、すべての初期化 (.INI) ファイル
- WINDOWS ディレクトリにある、すべてのレジストリ データ (.DAT) ファイル
- WINDOWS ディレクトリにある、すべてのパスワード (.PWL) ファイル
- CONFIG.SYS ファイルと AUTOEXEC.BAT ファイルに指定されているすべてのファイル
- 起動ドライブのルート ディレクトリにある、CONFIG.SYS ファイルと AUTOEXEC.BAT ファイル
- ネットワーク設定ファイルとログオン スクリプト

個人用や業務用のデータがハード ディスクに保存されている場合は、これらのデータも必ずバックアップしておいてください。

ネットワーク ソフトウェアをお使いの場合は、Windows 95 をセットアップする前に、ネットワーク ソフトウェアが正しく動作していることを確かめてください。Windows 95 では、これまでのネットワークの設定がそのまま使われます。

セットアップに関する説明ファイルを読む

SETUP.TXT ファイルには、セットアップに関する追加の情報や、セットアップのときに起きた問題の解決方法の説明などが載っています。Windows 95 をセットアップする前に、必ずこのファイルをお読みください。

SETUP.TXT ファイルの主な内容は、次のとおりです。

- ScanDisk の実行時の注意と、エラーの修復方法
- Windows 95 をセットアップした後に削除する方法
- 圧縮ドライブの使用時の注意
- Microsoft® Windows NT™ や、ほかの OS からセットアップする場合の注意
- 特定のプログラム、メモリ マネージャ、ディスク キャッシュ プログラム、デバイス ドライバ、常駐プログラムなどの使用時の注意
- セットアップの実行時のエラー メッセージ

SETUP.TXT ファイルは、フロッピー ディスク版の Windows 95 をご購入の場合は、「セットアップ ディスク 1」に入っています。CD-ROM 版の Windows 95 をご購入の場合は、「Windows 95 CD-ROM」の WIN95 ディレクトリに入っています。

SETUP.TXT ファイルは、Microsoft® Windows® Version 3.1 のメモ帳で見ることができます。また、MS-DOS® の場合は、MS-DOS 用のエディタやワード プロセッサで見ることができます。

セットアップの開始

以前のバージョンの Windows がインストールされているかどうかによって、Windows 95 のセットアップには、2 つの方法があります。

注意 Windows 95 をセットアップする前に、ハード ディスクのウイルス チェックを行うことをお勧めします。アンチ ウイルス プログラムが常駐している場合は、そのプログラムを無効にする必要があります。また、セットアップを始める前に、使用中のスクリーン セーバーを無効にする必要があります。

以前のバージョンの Windows からアップグレードするには

► 1 フロッピー ディスク ドライブに「セットアップ ディスク 1」を挿入するか、または CD-ROM ドライブに「Windows 95 CD-ROM」を挿入します。

► 2 ファイル マネージャで、[ファイル] メニューの [名前を指定して実行] をクリックするか、またはプログラム マネージャで、[アイコン] メニューの [ファイル名を指定して実行] をクリックします。

▼ 3 ドライブ名、コロン (:)、円記号 (¥) の順に入力し、続けて「setup」と入力します。お使いのフロッピー ディスク ドライブがドライブ A の場合は、次のように入力します。

a:¥setup

ファイル名を指定して実行

現在のディレクトリは、 C:¥です。

コマンド ライン(C):

a:¥setup

□ アイコンの状態で実行(M)

OK

ｷｬﾝｾﾙ

ﾍﾙﾌﾟ(H)

► 4 [OK] をクリックし、画面に表示される指示に従って操作します。ダイアログ ボックスが表示されたら、[次へ] をクリックし、セットアップを続けます。

以前のバージョンの Windows がインストールされていない場合は、次のページのようにします。

MS-DOS から Windows をセットアップするには

▸ 1 フロッピー ディスク ドライブに「セットアップ ディスク 1」を挿入するか、または CD-ROM ドライブに「Windows 95 CD-ROM」を挿入します。

▸ 2 コマンド プロンプトで、ドライブ名、コロン (:)、円記号 (¥) の順に入力し、続けて「setup」と入力します。お使いのフロッピー ディスク ドライブがドライブ A の場合は、次のように入力します。

a:¥setup

▸ 3 **Enter** キーを押し、画面に表示される指示に従って操作します。ダイアログ ボックスが表示されたら、[次へ] をクリックし、セットアップを続けます。

セットアップを続けていくと、セットアップの方法を選ぶダイアログ ボックスが表示されます。どの方法を選んだらよいかわからない場合は、自動的に選ばれている方法を使ってください。次の表は、それぞれの方法の内容をまとめたものです。

セットアップの方法	説明
標準	標準的なファイルの構成で Windows をセットアップします。
ポータブル	ディスク領域を節約し、ポータブル コンピュータに適した設定で Windows をセットアップします。パワー マネージメント機能やブリーフケースがインストールされます。ブリーフケースは、ポータブル コンピュータとデスクトップ コンピュータの間で、ファイルを同じ状態に保つプログラムです。
コンパクト	Windows の実行に最低限必要なファイルだけをインストールします。ディスクの空き領域が十分にない場合は、この方法を選びます。
カスタム	インストールするファイルを選んで Windows をセットアップできます。コンピュータの詳しい知識をお持ちの方や、システム管理者のための方法です。セットアップのオプションを独自に設定する場合は、この方法を選びます。

参照

セットアップの作業の全体の流れについては、次の「セットアップの作業の流れ」を参照してください。

Windows をセットアップした後に、Windows のプログラムを追加する方法については、「第 4 章 いろいろな機能」の「Windows のプログラムが使用できない場合」を参照してください。

セットアップの作業の流れ

注 Windows 95 をセットアップする手順は、お使いのコンピュータの環境や、セットアップ ディスクの種類によって異なることがあります。

セットアップの準備とシステム チェック

SETUP.EXE の実行

ScanDisk によるシステム チェック

Windows 3.1 のファイル マネージャから SETUP.EXE を実行した場合は、表示されません。

セットアップ開始の確認

ソフトウェア使用許諾契約への同意

アップグレード チェック

アップグレード版の Windows 95 をセットアップし、コンピュータに Windows 3.1 がセットアップされていない場合に表示されます。その場合は、Windows 3.1 のセットアップ ディスクの 1 枚目、または Windows 3.1 の CD を用意する必要があります。

Windows 95 セットアップ ウィザードの起動

アップグレード チェックを行い、Windows 3.1 のセットアップ ディスクがドライブに挿入されたままの場合は、Windows 95 のセットアップ ディスクと差し替えてください。

(続く)

1) コンピュータに関する情報の収集

インストールするディレクトリの選択

以前のバージョンのWindowsがインストールされている場合に、別のディレクトリへのインストールを指定すると、以前の環境で使用していたアプリケーションは正常に動作しません。その場合は、アプリケーションをセットアップし直す必要があります。

システム ファイルの保存

以前のバージョンの Windows と同じディレクトリにインストールを指定した場合に表示されます。システム ファイルを保存しておくと、セットアップ後にWindows 95を削除することができます。

セットアップ方法の選択

セットアップの方法は、コンピュータの使用目的やユーザーのコンピュータの知識に応じて、次の4種類の中から選択することができます。

標準/ポータブル/コンパクト

カスタム

ユーザー情報(名前と会社名)の入力

プロダクトID(シリアル番号)の確認、または入力

コンピュータを調査するデバイスの選択

カスタム セットアップの場合は、調査するデバイスをハードウェアの種類ごとに個別に指定することができます。

コンピュータで使われているハードウェアの調査

(続く)

(続く)

インストールする通信オプションの選択

The Microsoft Network、Microsoft Mail、Microsoft FAX のインストールを指定します。

Windows ファイルのインストール方法の指定

標準的なオプションを指定する

インストールするオプション ファイルを選択する

インストールするファイルの指定

ネットワークの設定

お使いのネットワーク システムで使用しているプロトコルを確認しておいてください。[追加] をクリックすると、プロトコルやサービスを指定できます。

ネットワークで使用するユーザー情報の入力

コンピュータ名、ワークグループ名、コンピュータの説明を入力します。ネットワークの設定によっては、表示されません。

コンピュータの設定の確認

起動ディスク作成の指定

次の Windows 95 ファイルのコピー中に、起動ディスクを作成します。フォーマット済みのフロッピーディスクを 1 枚ご用意ください。

(続く) (続く) (続く)

2) Windows 95 ファイルのコピー

コピーの開始

コピーの完了

(続く)

3) コンピュータの再起動と Windows 環境の作成

コンピュータの再起動

ネットワーク パスワードと Windows パスワードの入力

ハードウェア、その他環境ファイルの設定

日付と時刻、タイムゾーンの設定

プリンタ、Microsoft Exchange の設定

セットアップで選択したオプションにより、設定する項目が異なります。
セットアップ終了後にも設定することができます。

コンピュータの再起動

新しいデバイスが検出された場合にだけ、コンピュータが再起動します。

セットアップ終了

Windows 95 の新しい機能

Windows 95 では、以前のバージョンの Windows の機能が強化されただけでなく、新しい機能が数多く加わっています。ここでは、これらの機能の一部を簡単に紹介します。新しい機能の一覧については、ヘルプの [キーワード] 画面で「新しい機能」を検索し、説明を参照してください。

使いやすくなったインターフェイス　Windows 95 には、[スタート] ボタンとタスクバーがあります。[スタート] ボタンをクリックすると、すばやくプログラムを起動したり、ファイルを検索したり、システム ツールを実行したりできます。また、タスクバーを使うと、テレビのチャンネルを変えるときと同じように、簡単にプログラムを切り替えることができます。

Windows エクスプローラ　Windows エクスプローラは、ファイル、ドライブ、およびネットワークの一覧を表示し、情報を管理するための強力なツールです。

長いファイル名　長いファイル名が使用できるようになったため、ファイルを管理しやすくなりました。わかりやすい名前を付けることができるので、簡単にファイルを探すことができます。

ゲームとマルチメディアの機能強化　ゲームの画面表示速度が向上しました。また、MS-DOS ベースのゲームのサポートが強化されました。さらに、ビデオ ファイルやサウンド ファイルの再生能力が向上しました。

プラグ アンド プレイ ハードウェアへの対応　プラグ アンド プレイ対応のハードウェア カードは、コンピュータに挿入するだけで使用できます。コンピュータの電源を入れると、新しいハードウェアが自動的に認識され、セットアップが行われます。

32 ビット プリエンプティブ マルチタスク機能　多くのプログラムを同時に実行できるようになったため、パフォーマンスが向上しました。

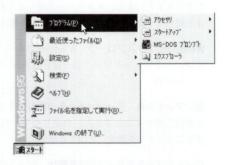
Microsoft Exchange　Microsoft Exchange を使うと、電子メールや FAX など、いろいろな種類の電子通信を使ってメッセージをやりとりできます。また、各種の情報を一括して管理できます。

The Microsoft Network　The Microsoft Network は、新しく使いやすいオンライン サービスです。電子メールを送受信する、電子掲示板やインターネットにアクセスするなど、いろいろな方法で世界中の人々とメッセージをやりとりできます。

以前のバージョンの Windows との違い

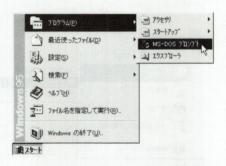
Windows Version 3.1 の基本的な要素は、Windows 95 では、以下のように変わりました。

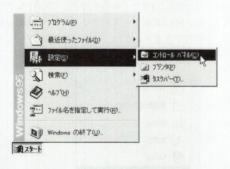
プログラム マネージャ

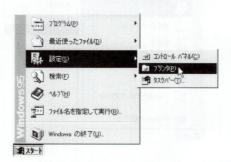
[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] をポイントすると、従来のプログラム グループを表示できます。プログラム グループは、[プログラム] メニューのフォルダとして表示されます。

ファイル マネージャ

ファイルを管理するには、[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] をポイントします。次に、[エクスプローラ] をクリックします。従来のディレクトリは、フォルダとして表示されます。

MS-DOS プロンプト

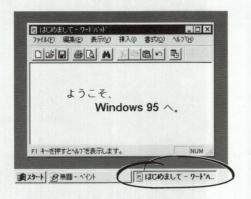
MS-DOS ウィンドウを開くには、[スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] をポイントします。次に、[MS-DOS プロンプト] をクリックします。

コントロール パネル

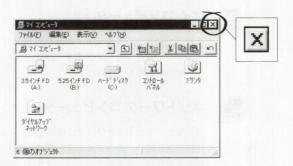
コントロール パネルを開くには、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントします。次に、[コントロール パネル] をクリックします。

プリント マネージャ

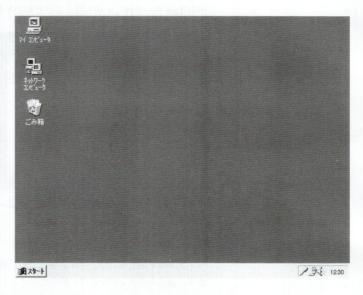
プリンタをセットアップしたり、印刷中のドキュメントの情報を見たりするには、[スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントします。次に、[プリンタ] をクリックします。

[ファイル名を指定して実行] コマンド

[ファイル名を指定して実行] コマンドを使うには、[スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。このコマンドでは、MS-DOS ベースのプログラムと Windows ベースのプログラムの両方を実行できます。また、フォルダを開いたり、ネットワーク リソースに接続したりすることもできます。

プログラムの切り替え

タスクバーを使うと、ウィンドウを切り替えることができます。切り替えるには、アクティブにするウィンドウに対応するタスクバーのボタンをクリックします。以前のバージョンの Windows と同じように、**Alt** キーを押しながら **Tab** キーを押して切り替えることもできます。

閉じるボタン

ウィンドウを閉じるには、ウィンドウの右上隅の閉じるボタンをクリックします。閉じるボタンの左には、最小化ボタンと最大化ボタンがあります。

Windows 95 の画面構成

Windows 95 を起動したときに、"デスクトップ" に表示される項目は、コンピュータの設定内容によって異なることもあります。通常は、次の 4 つの項目が重要です。

マイ コンピュータ

このアイコンをダブルクリックすると、自分のコンピュータの内容を見たり、ファイルを管理したりできます。詳細については、「第 2 章 いろいろな操作」を参照してください。

ネットワーク コンピュータ

コンピュータがネットワークに接続されている場合、またはネットワークに接続できる場合、このアイコンをダブルクリックすると、ネットワークで使用できるリソースを見ることができます。詳細については、「第 3 章 ネットワークの基礎知識」を参照してください。

ごみ箱

ごみ箱は、削除したファイルを一時的に保管しておく場所です。ごみ箱を使うと、誤って削除してしまったファイルを元に戻すことができます。詳細については、「第2章 いろいろな操作」を参照してください。

[スタート] ボタン

"タスクバー" の [スタート] ボタンをクリックすると、プログラムを起動する、ファイルを開く、システムの設定を変える、ヘルプを表示する、コンピュータの中のファイルやフォルダを探す、などの操作を行うことができます。詳細については、「第1章 基本的な操作」を参照してください。

第　1　章

基本的な操作

Microsoft® Windows® 95 Operating System (以下 Windows) の操作の基本は、[スタート] ボタンです。この章では、[スタート] ボタンの使い方を中心に、Windows の基本的な操作方法について説明します。また、オンライン ヘルプの使い方についても説明します。オンライン ヘルプは、Windows を操作したり、Windows の使い方を調べたりするときに役に立ちます。

目次

Windows 95 を起動する

ここでは、Windows を起動する手順と、Windows の基本的な要素である [スタート] ボタンとタスクバーについて説明します。

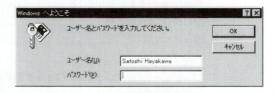
Windows にログオンする

Windows を起動すると、Windows にログオンするためのダイアログ ボックスが表示されます。ネットワークに接続している場合は、ネットワークにログオンするためのダイアログ ボックスが表示されます。

パスワードを使わずにログオンするには、[パスワード] ボックスに何も入力せずに、[OK] をクリックします。次回からは、このダイアログ ボックスは表示されなくなります。

Windows にログオンするには

▼1 [ユーザー名] ボックスにユーザー名を入力します。

▼2 [パスワード] ボックスにパスワードを入力します。初めて入力したときは、パスワードの確認のためのダイアログ ボックスが表示されます。

[スタート] ボタンとタスクバー

Windows を起動すると、画面の下端に [スタート] ボタンとタスクバーが表示されます。標準の設定では、Windows の実行中、[スタート] ボタンとタスクバーは、常に画面に表示されています。

[スタート] ボタン　タスクバー

[スタート] メニュー

[スタート] ボタンをクリックすると、メニューが表示されます。このメニューには、Windows を使い始めるにあたって必要な項目がすべて入っています。

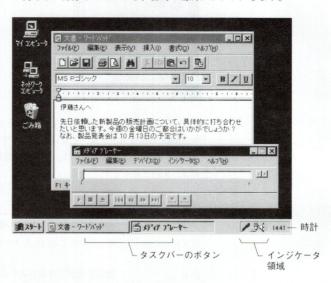
プログラムを起動するには、[プログラム] をポイントします。また、Windows の操作方法を調べるには、[ヘルプ] をクリックします。[スタート] メニューのコマンドについては、この章で詳しく説明します。コマンドの概要は、次のとおりです。

コマンド	説明
プログラム	起動できるプログラムの一覧が表示されます。
最近使ったファイル	最近開いたことのあるファイルの一覧が表示されます。
設定	設定を変更できるシステムの構成要素の一覧が表示されます。
検索	フォルダ、ファイル、共有コンピュータ、メール メッセージなどを検索できます。
ヘルプ	ヘルプを起動します。[目次] 画面と [キーワード] 画面で、Windows の操作方法を調べることができます。
ファイル名を指定して実行	MS-DOS コマンドを入力する場合と同じように、プログラムを起動したり、フォルダを開いたりします。
Windows の終了	コンピュータの電源を切ります。または、コンピュータを再起動したり、Windows からログオフしたりします。

コンピュータの種類や、指定したオプションによっては、ほかの項目がメニューに表示されることもあります。

タスクバー

プログラムを起動したり、ウィンドウを開いたりすると、ウィンドウに対応するボタンがタスクバーに表示されます。ウィンドウを切り替えるには、アクティブにするウィンドウのボタンをクリックします。ウィンドウを閉じると、対応するボタンもタスクバーから消えます。

タスクバーは、画面の上下左右に移動できます。移動するには、タスクバーの何もない部分をポイントし、目的の場所にドラッグします。

実行中の作業によっては、プリンタ インジケータやバッテリー インジケータなど、各種のインジケータがタスクバーに表示されることがあります。プリンタ インジケータは、印刷ジョブの状態を示し、バッテリー インジケータは、ポータブル コンピュータの電源の状態を示します。また、タスクバーの右端には、時計があります。時計やインジケータの設定を表示または変更するには、項目をクリックまたはダブルクリックします。

参照

タスクバーの使い方については、ヘルプの [キーワード] 画面で「タスクバー」を検索し、説明を参照してください。

Windows の基本要素の使い方

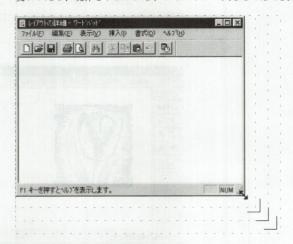
ウィンドウのサイズを変える

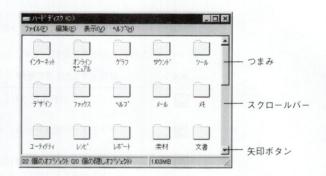
ウィンドウの大きさや形を変えると、一度に複数のウィンドウを表示したり、いくつものウィンドウの内容を同時に見たりできます。

ウィンドウのサイズを変えるには、次の 2 つの方法があります。

- ウィンドウの右上のボタンを使います。

ボタン	クリックしたときの動作
[最小化]	ウィンドウが最小化され、タスクバーのボタンになります。
[最大化]	ウィンドウが最大化され、デスクトップ全体に表示されます。
[元に戻す]	ウィンドウが元のサイズに戻ります。このボタンは、ウィンドウが最大化されているときに表示されます。

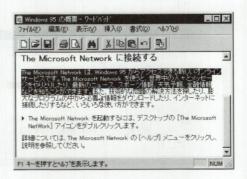
- マウス ポインタをウィンドウの境界の上に置きます。ポインタの形が変わったら、境界をドラッグし、ウィンドウの大きさや形を変えます。

スクロール

ウィンドウの中に情報が入りきらない場合は、ウィンドウの右端や下端にスクロールバーが表示されます。ウィンドウに表示されていない情報を見るには、スクロールバーのつまみをドラッグするか、または矢印ボタンをクリックします。

ウィンドウの移動

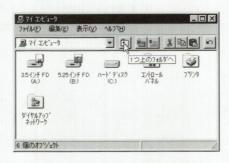
ウィンドウを画面上の別の場所に移動すると、複数のウィンドウを見やすく配置したり、ほかのウィンドウの背後に隠れている項目を見たりできます。

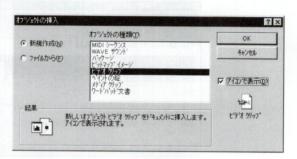
ウィンドウを移動するには、タイトルバーをドラッグします。

情報の選択

文字列を太字にしたり、文書の中の別の場所にコピーしたりするなど、情報に対して何らかの操作を行うには、まず、目的の情報を選択 (反転表示) します。情報を選択するには、選択範囲の開始位置にマウス ポインタを置き、終了位置までドラッグします。

ツールバーの使い方

多くのプログラムでは、ウィンドウにツールバーが表示されます。ツールバーを使うと、基本的な操作を簡単に実行できます。ツールバーのほとんどのボタンは、メニュー コマンドと同じ機能を持っています。ボタンの上にマウス ポインタを置くと、ボタンの名前を示すボックスが表示され、ボタンの機能を知ることができます。

ツールバーを表示するには、[表示] メニューの [ツールバー] をクリックします。

ダイアログ ボックスの使い方

情報を指定したり、いろいろな項目の設定を変えたりする必要がある場合は、ダイアログ ボックスが表示されます。たとえば、ファイルを開くときに、[ファイル] メニューの [開く] をクリックすると、ダイアログ ボックスが表示され、開くファイルを選択できます。次の図は、ダイアログ ボックスの例です。

ダイアログ ボックスを操作するときは、次のような種類のオプションを使用できます。

オプション	クリックしたときの動作
	選択肢の一覧が表示されます。次に、目的の項目をクリックします。
	オプションを選びます。一度に選択できるオプションは、1 つだけです。オプションを選ぶと、円の中に黒い点が表示されます。
	オプションを選びます。一度に複数のオプションを選択できます。オプションを選ぶと、チェック ボックスの中に印が表示されます。この状態が "チェック ボックスがオン" の状態です。 "チェック ボックスがオフ" の状態では、チェック ボックスの中に印が表示されません。

プログラムの起動と終了

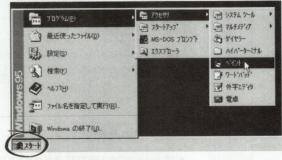
[スタート] ボタンを使うと、ワード プロセッサやゲームなど、いろいろなプログラムを簡単に起動できます。

プログラムを起動するには

▼1 [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] をポイントします。

ヒント

[スタート] メニューには、プログラムを登録できます。マイ コンピュータまたは Windows エクスプローラで、プログラムのアイコンを [スタート] ボタンにドラッグすると、[スタート] メニューの一番上にプログラムが追加されます。

▼2 [アクセサリ] など、プログラムが入っているフォルダをポイントし、目的のプログラムをクリックします。

▲ 起動したプログラムに対応するボタンがタスクバーに表示されます。

参照

[スタート] メニューの設定を変える方法については、ヘルプの [キーワード] 画面で「登録, [スタート] メニューにプログラムを登録」を検索し、説明を参照してください。

[プログラム] メニューの内容

[プログラム] をポイントしたときに表示されるプログラムとフォルダは、次のようにして登録されます。

- Windows をセットアップしたときに、[プログラム] メニューには、[エクスプローラ] や [MS-DOS プロンプト] などのプログラムと、いくつかのフォルダが登録されます。これらのフォルダの中のプログラムは、アクセスしやすいようにグループ化されています。
- Windows には、[スタートアップ] フォルダがあります。このフォルダには、Windows の起動時に自動的に実行するプログラムを入れておきます。詳細については、「第 2 章 いろいろな操作」の「便利な機能を使う」を参照してください。
- 新しいプログラムをコンピュータにインストールすると、新しいフォルダが登録されることがあります。
- 以前のバージョンの Windows からアップグレードした場合は、従来のプログラム グループがフォルダとして表示されます。

プログラムを終了するには

▼ ウィンドウの右上隅の閉じるボタンをクリックします。

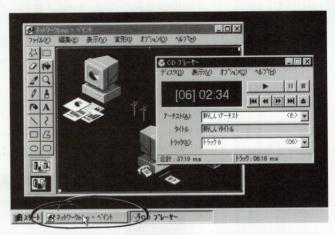
■ 参照

[プログラム] メニューの設定を変える方法については、ヘルプの [キーワード] 画面で「[プログラム] メニュー」を検索し、説明を参照してください。

プログラムは、同時にいくつでも実行できます。Windows では、実行中のプログラムやウィンドウを簡単に切り替えることができます。

プログラムを切り替えるには

▼ アクティブにするプログラムに対応するタスクバーのボタンをクリックします。

▲ アクティブにしたプログラムは、ほかのウィンドウの手前に表示されます。

参照

プログラムの実行の詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「プログラムの実行」を検索し、説明を参照してください。

ファイルを開く

Windows では、いろいろな方法でファイルを開くことができます。ここでは、次の 2 つの方法について説明します。

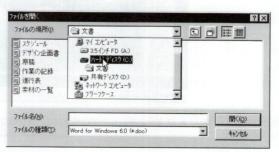
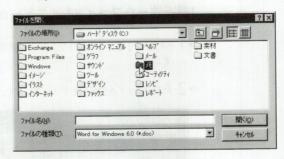
- 目的のファイルを作ったプログラムから、ファイルを開きます。
- [スタート] メニューの [最近使ったファイル] コマンドで、最近開いたことのあるファイルを開きます。

ほかにも、次の方法でファイルを開くことができます。

- [スタート] メニューの [検索] コマンドで、ファイルを探します。詳細については、この章の「コンピュータの中のファイルやフォルダを探す」を参照してください。
- マイ コンピュータで、ファイルのアイコンをダブルクリックします。

プログラムからファイルを開くには

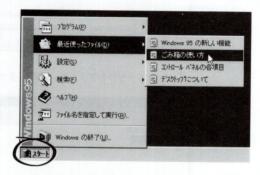
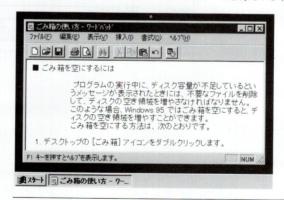
◂1 [ファイル] メニューの [開く] をクリックします。

▾2 別のフォルダに入っているファイルを開くには、[ファイルの場所] ボックスの下向き矢印をクリックし、目的のフォルダが入っているドライブをクリックします。

▼3 目的のファイルが入っているフォルダをクリックし、[開く] をクリックします。フォルダが表示されない場合は、必要に応じてスクロールします。

▼4 目的のファイルをクリックし、[開く] をクリックします。

[最近使ったファイル] メニューからファイルを開くこともできます。このメニューには、最近開いたことのあるファイルの一覧が表示されます。

[最近使ったファイル] メニューからファイルを開くには

▼1 [スタート] ボタンをクリックし、[最近使ったファイル] をポイントします。

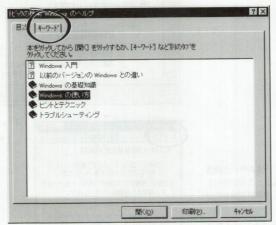
▼2 目的のファイルの名前をクリックします。

▼ ファイルが開き、対応するボタンがタスクバーに表示されます。

参照

ファイルの詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「ファイル」および「ドキュメント」を検索し、説明を参照してください。

ヘルプを表示する

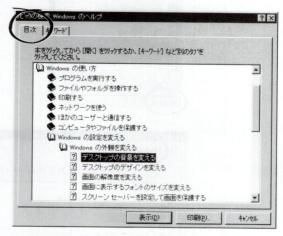
オンライン ヘルプは、Windows の使い方を理解するうえで、不可欠な情報源です。ヘルプには、特定の操作手順についてのヘルプと、画面に表示されている項目についてのヘルプの 2 種類があります。

ヘルプを表示するには

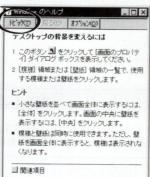
◀ [スタート] ボタンをクリックし、[ヘルプ] をクリックします。

▲ ヘルプ トピックの一覧が表示されます。ダイアログ ボックスの上部のタブをクリックすると、検索画面が切り替わります。

[スタート] メニュー、またはマイ コンピュータや Windows エクスプローラの [ヘルプ] メニューからヘルプを起動すると、Windows の全般的なヘルプが表示されます。ワードパッドやペイントなど、プログラムの [ヘルプ] メニューからヘルプを起動すると、それぞれのプログラムに固有のヘルプが表示されます。

目次からヘルプ トピックを探すには

▼ 分類別のトピックの一覧から目的のトピックを探すには、[目次] タブをクリックします。トピックを表示する方法については、画面上の指示を参照してください。

ヒント

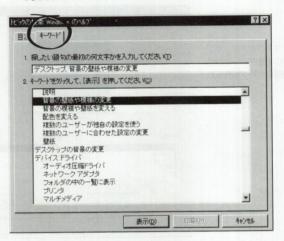
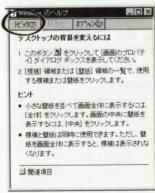
トピックの中に、下線の付いた緑色の文字列がある場合、この文字列をクリックすると、用語の説明などが表示されます。

また、 が表示されている場合、このボタンをクリックすると、プログラムやダイアログ ボックスを直接起動できます。

◀ トピックの一覧に戻るには、[トピック] をクリックします。

キーワードでヘルプトピックを探すには

▼ 五十音順のキーワードの一覧から目的のトピックを探すには、[キーワード] タブをクリックします。トピックを表示する方法については、画面上の指示を参照してください。

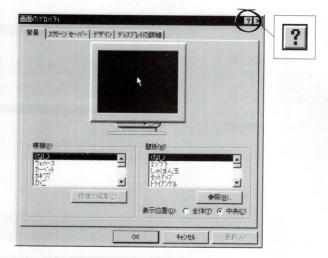
ヒント

[キーワード] 画面で、目的の項目をすばやく見つけるには、語句の最初の数文字を入力します。キーワードの構成は、本の索引と同じようになっています。目的の項目が見つからなかった場合は、別の項目を探してください。

◀ トピックの一覧に戻るには、[トピック] をクリックします。

画面上の項目のヘルプを表示するには

▼ ダイアログ ボックスの中の項目の説明を表示するには、[?] ボタンをクリックし、目的の項目をクリックします。

ヒント

目的の項目をマウスの右ボタンでクリックし、[ヘルプ] をクリックしても、画面上の項目のヘルプを表示できます。

模様または壁紙が画面にどのように表示されるか示されます。模様または壁紙を表示するには、[模様] または [壁紙] の領域の一覧で、模様または壁紙の名前をクリックします。

▲ ポップアップ ウィンドウが表示されます。ウィンドウをクリックすると、ヘルプは消えます。

コンピュータの中のファイルやフォルダを探す

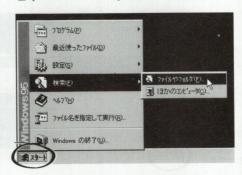
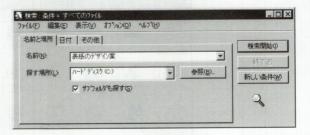
ファイルやフォルダがどこにあるかわからない場合、[検索] コマンドを使うと、目的のファイルやフォルダを探し、開くことができます。

ファイルやフォルダを探すには

▼1 [スタート] ボタンをクリックし、[検索] をポイントします。

ヒント

[検索] コマンドでは、ネットワークに接続されているコンピュータを探すこともできます。

▼2 [ファイルやフォルダ] をクリックします。

▼3 [名前] ボックスをクリックし、目的のファイルやフォルダの名前を入力します。

▸4 検索する場所を指定するには、[探す場所] ボックスの下向き矢印をクリックするか、または [参照] をクリックします。

▸5 検索を始めるには、[検索開始] をクリックします。

システムの設定を変える

コントロール パネルを使うと、Windows の外観や、いろいろな機能の設定を変えることができます。

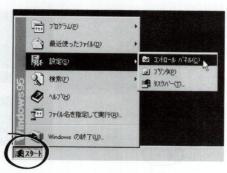
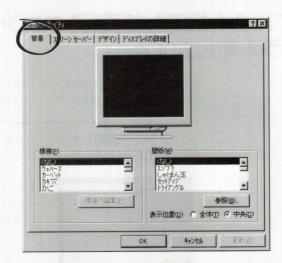
Windows の設定を変えるには

▼1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントします。

ヒント

コントロール パネルでは、画面の配色を変える、ハードウェアやソフトウェアをインストールしたり、設定を変えたりする、ネットワークをセットアップしたり、設定を変えたりする、などの操作を行うことができます。

コントロール パネルに表示されるアイコンは、インストールされているハードウェアとソフトウェアによって異なります。

▼2 [コントロール パネル] をクリックします。

▼3 適切なアイコンをダブルクリックし、設定内容を表示します。

▲ ほかの設定内容を見るには、ダイアログ ボックスの上部のタブをクリックします。

参照

コントロール パネルの詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で各項目を検索し、説明を参照してください。

[ファイル名を指定して実行] コマンドでプログラムを起動する

プログラムの名前とパスがわかっている場合は、[ファイル名を指定して実行] コマンドを使うと、簡単にプログラムを起動できます。

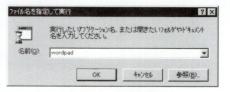
プログラムを起動したり、ファイルやフォルダを開いたりするには

◂1 [スタート] ボタンをクリックし、[ファイル名を指定して実行] をクリックします。

ヒント

プログラムの場所が正確にわからない場合や、パスの指定方法がわからない場合は、[参照] をクリックします。

フォルダの名前を入力すると、フォルダを開くことができます。ネットワークにあるフォルダを開くには、パスを指定します。

▾2 プログラム、フォルダ、またはファイルの名前を入力します。または、[参照] をクリックし、目的の項目を探します。

▴ [名前] ボックスの下向き矢印をクリックすると、以前に入力したことのあるコマンドの一覧が表示されます。

このコマンドを使う場合、通常は、プログラムの名前を指定するだけでかまいません。"パス" の指定方法については、次のページで説明します。

ヒント

ほとんどのファイルには、ファイル名の後に 3 文字の ".拡張子" が付いています。拡張子は、ファイルの種類を表します。たとえば、".EXE" の付いたファイルはプログラム ファイル、".TXT" の付いたファイルはテキスト ファイルです。

パスの指定方法

パスとは、文書やプログラムなどのファイルがコンピュータやネットワークのどこにあるかを直接指定する方法です。パスには、ハードディスク、フロッピー ディスク、CD-ROM ドライブ、ネットワークの共有フォルダなどのドライブと、目的のファイルに至るまでに開く必要のあるすべてのフォルダを指定します。

ファイルのフル パスを指定するには、まず、ドライブ名、コロン (:)、円記号 (¥) の順に入力します。次に、開く順番のとおりにフォルダの名前を指定します。複数のフォルダがある場合は、それぞれのフォルダ名を円記号 (¥) で区切ります。最後に、ファイル名を入力します。

Windows 95 では、半角で 255 文字以内の長いファイル名を使用できます。また、ファイル名にスペースを使っている場合は、二重引用符 (") でパスを囲みます。

パスの例を、次に示します。

- ドライブ C の [Windows] フォルダにある README というテキスト ファイルを指定するには、次のように入力します。

  c:¥windows¥readme.txt

- ドライブ C の [Social Events] フォルダの中の [Holiday] フォルダにある PARTY LIST.DOC という文書を指定するには、次のように入力します。

  "c:¥social events¥holiday¥party list.doc"

- ¥¥Picture¥Scenic というネットワークの共有フォルダにある CANYON というビットマップ (絵) を指定するには、次のように入力します。

  ¥¥picture¥scenic¥canyon.bmp

  また、このフォルダにドライブ名 (ドライブ D) が割り当てられている場合は、次のように入力することもできます。

  d:¥canyon.bmp

参照

拡張子の詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「拡張子, ファイル名」を検索し、説明を参照してください。

ドライブ名の割り当てについては、「第 3 章　ネットワークの基礎知識」の「ほかのコンピュータのリソースを使う」を参照してください。

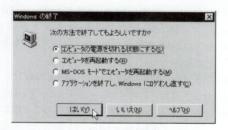
Windows 95 を終了する

コンピュータの電源を切ったり、コンピュータを再起動したりするには、まず、Windows を終了する必要があります。Windows を終了すると、それまでの作業内容が正しくハード ディスクに保存されます。

注意 ファイルの破損を防ぐため、必ず Windows を終了してから、コンピュータの電源を切るようにしてください。

Windows を終了し、コンピュータの電源を切るには

1 [スタート] ボタンをクリックし、[Windows の終了] をクリックします。

2 [はい] をクリックします。ファイルの変更内容を保存していない場合は、保存するかどうかを確認するメッセージが表示されます。

3 コンピュータの電源を切ってもよい状態になると、メッセージが表示されます。

ダイアログ ボックスに表示されるオプションの詳細については、[ヘルプ] をクリックし、説明を参照してください。

第 2 章

いろいろな操作

この章では、Microsoft® Windows® 95 Operating System (以下 Windows) の基本的な操作方法をマスターした方を対象として、ファイルやフォルダの管理、ドキュメントの印刷など、いろいろな操作の手順について説明します。

目次

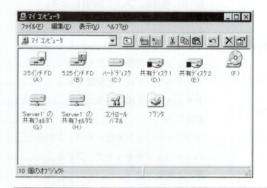
コンピュータの中の項目を見る

Windows 95 では、プログラム、文書、データ ファイルなど、コンピュータの中のすべての項目に、"マイ コンピュータ" という場所から集中的にアクセスできます。Windows を起動すると、画面 ("デスクトップ") の左上隅に [マイ コンピュータ] アイコンが表示されます。

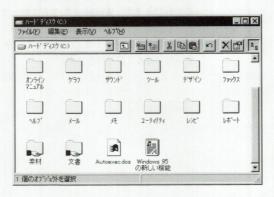
コンピュータの中の項目を見るには

マイ コンピュータ

◂ [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックします。

▾ ウィンドウが表示され、中にいろいろな絵が表示されます。この絵を "アイコン" といいます。

マイ コンピュータの中の項目を使うには、アイコンをダブルクリックします。アイコンの一覧と、アイコンをダブルクリックしたときに起きる動作を、次のページに示します。

アイコン	ダブルクリックしたときの動作
3.5インチ FD	3.5 インチ ドライブがある場合、ドライブに挿入されているフロッピー ディスクの内容が表示されます。
5.25インチ FD	5.25 インチ ドライブがある場合、ドライブに挿入されているフロッピー ディスクの内容が表示されます。
ハード ディスク	ハード ディスクの内容が表示されます。
	ネットワーク ドライブに接続している場合、ドライブの内容が表示されます。詳細については、「第3章 ネットワークの基礎知識」を参照してください。
	CD-ROM ドライブがある場合、ドライブに挿入されているコンパクト ディスクの内容が表示されます。
コントロール パネル	コンピュータの設定を変更できます。詳細については、「第1章 基本的な操作」の「システムの設定を変える」を参照してください。
プリンタ	プリンタをセットアップしたり、プリンタまたは印刷中のドキュメントの情報を見たりできます。詳細については、この章の「印刷する」を参照してください。

ディスク ドライブのアイコンをダブルクリックすると、次のようなウィンドウが表示されます。

ウィンドウの中のアイコンの意味を、次のページに示します。

アイコン	意味
	"フォルダ"。ファイルやフォルダを中に入れることができます。情報を整理するために、関連する項目をまとめてフォルダに入れ、保存しておきます。これは、オフィスや自宅で情報を整理するときと同じしくみです。従来のディレクトリは、フォルダとして表示されます。
	"共有" フォルダ。フォルダを共有できるようにすると、ネットワークのほかのユーザーがフォルダの内容を使用できるようになります。詳細については、「第3章 ネットワークの基礎知識」を参照してください。
	"ファイル"。Windows で情報を保存するときの基本的な単位です。ドキュメントやプログラムも、共にファイルです。表示されるアイコンは、ファイルの種類によって異なることがあります。特定のアイコンに対応していない種類のファイルの場合は、標準のアイコンが使われます。
	ワードパッドで作った文書。ワードパッドは、Windows に付属しているテキスト エディタです。

アイコンをダブルクリックすると、フォルダの内容やファイルの中の情報を見たり、プログラムを起動したりできます。

Windows エクスプローラでコンピュータの内容を見る

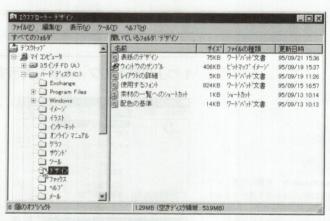
コンピュータの中の項目を見るには、Windows エクスプローラを使うこともできます。Windows エクスプローラを使うと、コンピュータの内容を階層 ("ツリー") 構造で表示できます。自分のコンピュータのドライブやフォルダだけでなく、ネットワーク ドライブの内容もわかりやすい形で見ることができます。

フォルダの階層構造を見るには

▼1 [スタート] ボタンをクリックし、[プログラム] をポイントします。次に、[エクスプローラ] をクリックします。

ヒント

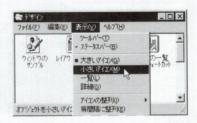
Windows エクスプローラを起動するには、別の方法もあります。[マイ コンピュータ] アイコンをマウスの右ボタンでクリックし、[エクスプローラ] をクリックします。

ウィンドウの左側のボックスで、フォルダの表示/非表示を切り替えるには、フォルダの左のプラス記号 (+) またはマイナス記号 (-) をクリックします。

▲ ウィンドウの左側のボックスには、ディスク ドライブやフォルダの一覧が表示されます。右側のボックスには、左側でクリックした項目の内容が表示されます。

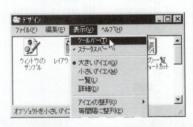
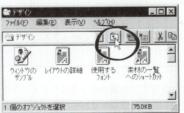
ウィンドウの右側のボックスのアイコンをダブルクリックすると、ファイルを開いたり、プログラムを起動したりできます。

[表示] メニューのコマンドを使うと、いろいろな表示形式でコンピュータの内容を見ることができます。

アイコンの表示形式を変えるには

▼ [表示] メニューの [小さいアイコン]、[一覧]、または [詳細] をクリックします。

◀ 現在は、[大きいアイコン] の形式で表示されています。

マイ コンピュータの使用中に、現在開いているフォルダの上の階層のフォルダを開く必要のある場合があります。

1 つ上の階層のフォルダを表示するには

◀1 ツールバーが表示されていない場合は、[表示] メニューの [ツールバー] をクリックします。

◀2 ツールバーの [1 つ上のフォルダへ] ボタンをクリックします。

▲ ツールバーには、よく使う操作のためのボタンが登録されています。

ヒント

BackSpace キーを押しても、1 つ上の階層のフォルダを表示できます。この場合は、ツールバーの表示/非表示の状態には関係ありません。

ファイルやフォルダを整理する

ここでは、コンピュータの中の項目を整理し、コンピュータを使いやすくするための基本的な操作について説明します。以下の説明では、マイ コンピュータを使っていますが、Windows エクスプローラでも同じ作業を行うことができます。

ファイルやフォルダを移動またはコピーするには

1 [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックします。次に、目的のファイルやフォルダを探し、クリックします。

2 [編集] をクリックします。

- ファイルを移動するには、[切り取り] をクリックします。
- ファイルをコピーするには、[コピー] をクリックします。

3 移動先またはコピー先のフォルダを開き、[編集] メニューの [貼り付け] をクリックします。

ヒント

マウスの右ボタンを使うと、ファイルやフォルダを簡単に移動したり、コピーしたりできます。詳細については、この章の「便利な機能を使う」を参照してください。

文字列の一部をコピーし、"スクラップ" としてフォルダに入れたり、デスクトップに置いたりできます。詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「スクラップの作成」を検索し、説明を参照してください。

複数の項目の選択

複数の項目を 1 つずつ選ぶには、**Ctrl** キーを押しながらそれぞれの項目をクリックします。ウィンドウの中のすべての項目を選ぶには、[編集] メニューの [すべて選択] をクリックします。

参照

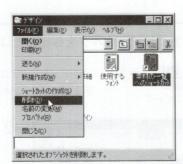
ファイルの検索については、「第1章 基本的な操作」の「コンピュータの中のファイルやフォルダを探す」を参照してください。

関連項目については、ヘルプの [キーワード] 画面で「ファイル」を検索し、説明を参照してください。

ファイルやフォルダを削除するには

ヒント

デスクトップの [ごみ箱] アイコンにファイルをドラッグすると、簡単にファイルを削除できます。ファイルのドラッグについては、この章の「便利な機能を使う」を参照してください。

1 [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックします。次に、削除するファイルやフォルダを探し、クリックします。

2 [ファイル] メニューの [削除] をクリックします。

削除したファイルの処置

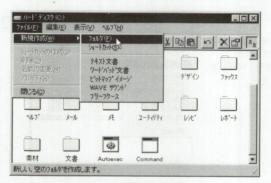
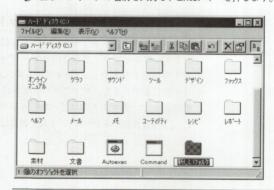
削除したファイルは、ごみ箱に入ります。ごみ箱は、不要になったファイルを保管しておく場所です。ごみ箱の中のファイルは、ごみ箱を "空" にするまで、実際にはハード ディスクから削除されません。

このため、ごみ箱からファイルを削除していない限り、誤って削除してしまったファイルを元に戻すことができます。ただし、ディスクの空き領域を増やすには、定期的にごみ箱を空にする必要があります。詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「ごみ箱」を検索し、説明を参照してください。

MS-DOS プロンプトでファイルを削除した場合、またはフロッピー ディスクから削除した場合は、ファイルはごみ箱に保管されません。

新しいフォルダを作るには

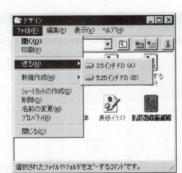
◂1 [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックします。次に、新しいフォルダを入れるディスク ドライブまたはフォルダをダブルクリックします。

▾2 [ファイル] メニューの [新規作成] をポイントし、[フォルダ] をクリックします。

▾3 新しいフォルダの名前を入力し、**Enter** キーを押します。

マイ コンピュータを使うと、ハード ディスクからフロッピー ディスクにファイルやフォルダを簡単にコピーできます。

フロッピー ディスクにファイルをコピーするには

1 [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックします。次に、コピーするファイルやフォルダを探し、クリックします。

ヒント

マウスの右ボタンを使っても、ファイルをコピーできます。詳細については、この章の「便利な機能を使う」を参照してください。

2 [ファイル] メニューの [送る] をポイントし、コピー先のドライブをクリックします。

フロッピー ディスクのフォーマットとディスクのコピー

フロッピー ディスクをフォーマットするには、マイ コンピュータを使います。フォーマットするフロッピー ディスクを挿入したドライブのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [フォーマット] をクリックします。また、ディスクのコピーにも、マイ コンピュータを使用できます。ディスクのコピーを行うドライブのアイコンをクリックし、[ファイル] メニューの [ディスクのコピー] をクリックします。

ドキュメントを編集する

ここでは、Windows のドキュメントを編集するための基本的な操作について説明します。以下の説明では、ワードパッドを使っていますが、情報のコピー、削除、保存などの方法は、ほかのアプリケーションで作ったビットマップやサウンドを編集する場合でも、基本的に同じです。このように、Windows のアプリケーションで作った文書、ビットマップ、サウンドなどの内容を、総称してドキュメントといいます。

情報のコピー、移動、削除

ドキュメントの編集中に、情報をコピーしたり、移動したりすることがよくあります。コピーや移動は、あるドキュメントから別のドキュメントに行われることも、また、同じドキュメントの中のある場所から別の場所に行われることもあります。また、情報を削除することもよくあります。

ドキュメントの中の情報の選択

通常、情報を編集するには、まず、目的の情報を選択する (反転表示する) 必要があります。情報を選択するには、選択範囲の開始位置にマウス ポインタを置き、マウスのボタンを押したまま、選択範囲の終了位置までドラッグし、マウスのボタンを離します。

情報をコピーまたは移動するには

ヒント

情報を選択し、選択範囲をマウスの右ボタンでクリックすると、メニューが表示されます。その中のコマンドを使うと、選択範囲を編集したり、書式を設定したりできます。

▼1 情報を選択します。

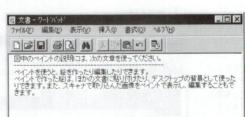
2 [編集] をクリックします。

- 選択した情報を残しておき、別の場所にコピーを挿入するには、[コピー] をクリックします。
- 選択した情報を削除し、別の場所に挿入するには、[切り取り] をクリックします。

ヒント

異なるプログラムの間でも、情報を移動したり、コピーしたりできます。たとえば、ペイントとワードパッドの間で情報をやりとりできます。詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「貼り付け, ほかのドキュメントの情報」を検索し、説明を参照してください。

3 挿入先のドキュメントで、情報を挿入する位置をクリックします。

4 [編集] メニューの [貼り付け] をクリックします。

▲ 新しい情報がドキュメントに表示されます。

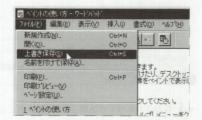
参照

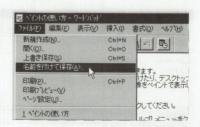
ドキュメントを開く方法については、「第 1 章 基本的な操作」の「ファイルを開く」を参照してください。

ファイルの検索については、「第 1 章 基本的な操作」の「コンピュータの中のファイルやフォルダを探す」を参照してください。

作業内容を保存する

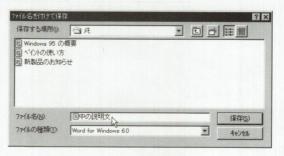
既にあるファイルの内容を変えたり、新しいファイルを作ったりした場合、作業の内容を保存するには、ファイルを保存する必要があります。

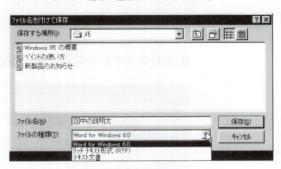
既存のファイルの変更内容を保存するには

◂ [ファイル] メニューの [上書き保存] をクリックします。

新規のファイルとして保存するには

◂1 [ファイル] メニューの [名前を付けて保存] をクリックします。

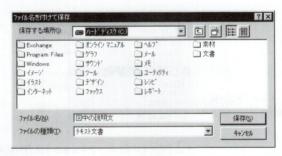
ヒント

ファイルのコピーを作り、名前や保存場所を変える場合も、この手順を使います。

▾2 [ファイル名] ボックスに名前を入力します。

▼3 ファイルの種類を変えるには、[ファイルの種類] ボックスの下向き矢印をクリックし、適切な種類をクリックします。

ヒント

1 つ上の階層のフォルダにファイルを保存するには、[保存する場所] ボックスの右の [1 つ上のフォルダへ] ボタンをクリックします。

▼4 保存先のドライブやフォルダを変えるには、[保存する場所] ボックスの下向き矢印をクリックし、目的のドライブをクリックします。次に、目的のフォルダをクリックします。

▼5 [保存] をクリックします。

印刷する

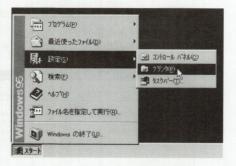
Windows 95 の印刷機能は、大幅に強化されています。特に、プリンタのセットアップが簡単になりました。ここでは、プリンタをセットアップし、ドキュメントを印刷するための基本的な操作について説明します。詳細については、ヘルプを参照してください。

プリンタをセットアップする

プリンタ ウィザードを使うと、簡単にプリンタをセットアップできます。"ウィザード" とは、対話式で一段階ずつセットアップを行うプログラムのことです。

注 セットアップの前に、プリンタが正しく接続されていることを確かめてください。また、プリンタの製造元と製品名を調べておいてください。ネットワークに接続されている共有プリンタを使う場合は、プリンタの "パス" も調べておく必要があります (例: ¥¥Accounting¥Printer1)。ネットワーク プリンタを使う場合は、ネットワーク コンピュータでプリンタを探し、目的のプリンタのアイコンをダブルクリックしても、プリンタをセットアップできます。

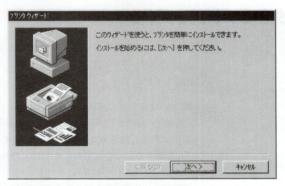
プリンタをセットアップするには

▼1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントします。次に、[プリンタ] をクリックします。

■ 参照

ネットワーク コンピュータの詳細については、「第 3 章 ネットワークの基礎知識」を参照してください。

パスの詳細については、「第 1 章 基本的な操作」の「[ファイル名を指定して実行] コマンドでプログラムを起動する」を参照してください。

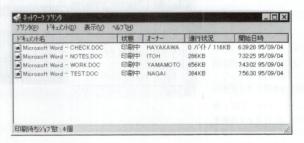
2 [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。

3 画面に表示される指示に従って操作します。

4 セットアップが終わると、新しいプリンタのアイコンが [プリンタ] ウィンドウに表示され、プリンタが使用できる状態になります。ローカル プリンタとネットワーク プリンタでは、アイコンのデザインが異なります。

ヒント

セットアップ済みのプリンタがある場合は、[プリンタ] ウィンドウにプリンタのアイコンが表示されます。このようなプリンタは、既に使用できる状態になっています。

ネットワークの共有プリンタをセットアップする場合も、同じ手順を使います。この場合は、プリンタ ウィザードで、接続先として [ローカル プリンタ] ではなく、[ネットワーク プリンタ] を選びます。

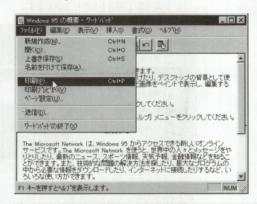
[プリンタ] ウィンドウで、プリンタのアイコンをダブルクリックすると、印刷中のドキュメントや印刷待ちのドキュメントを表示し、印刷の状態を管理できます。たとえば、印刷を一時停止したり、中止したりできます。

参照

印刷の詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「印刷」を検索し、説明を参照してください。

ドキュメントを印刷する

プリンタのセットアップが済んだら、簡単にドキュメントを印刷できます。

ドキュメントを印刷するには

▼ ドキュメントを開いている場合は、[ファイル] メニューの [印刷] をクリックします。

プリンタへのショートカットがデスクトップにある場合、プリンタのショートカット アイコンにファイルのアイコンをドラッグすると、簡単に印刷できます。ショートカットの作成方法については、この章の「デスクトップにショートカットを置く」を参照してください。

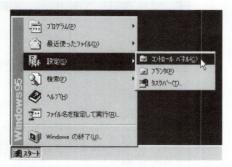
印刷に関するトラブルシューティング

印刷に関する問題が起きた場合は、ヘルプの「印刷に関するトラブルシューティング」が使用できます。ドキュメントがまったく印刷できなかったり、正しく印刷されなかったりする場合、このトラブルシューティングを使うと、問題の原因を突き止めることができます。ヘルプの [キーワード] 画面で「印刷に関するトラブルシューティング」を検索してください。

アプリケーションをセットアップする

Windows では、新しいプログラムを簡単にセットアップできます。

プログラムをセットアップするには

▼1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントします。次に、[コントロール パネル] をクリックします。

▼2 [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。

▼3 [セットアップ] をクリックし、画面に表示される指示に従って操作します。

ヒント

Windows 95 のプログラムを追加または削除するには、[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログ ボックスの [Windows ファイル] タブをクリックします。

参照

ダイアログ ボックスの各項目のヘルプを表示するには、ウィンドウの右上の [?] ボタンをクリックし、目的の項目をクリックしてください。

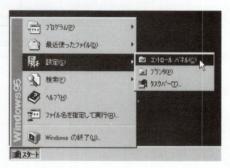
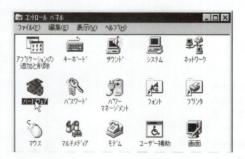
ネットワークからプログラムをセットアップする方法については、ヘルプの [キーワード] 画面で「プログラム, インストール」を検索し、説明を参照してください。

ハードウェアをセットアップする

サウンド カードなどの新しいハードウェアをセットアップする場合、Windows では、画面に表示される指示に従って作業を進めることができます。

注 まだハードウェアを取り付けていない場合は、下の手順を実行する前に、コンピュータに取り付けておく必要があります。詳細については、ハードウェアのマニュアルを参照してください。

ハードウェアをセットアップするには

▾1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントします。次に、[コントロール パネル] をクリックします。

▾2 [ハードウェア] アイコンをダブルクリックします。

▼3 [次へ] をクリックし、画面に表示される指示に従って操作します。

▲ セットアップの方法には、新しいハードウェアを自動的に検出する方法と、セットアップするハードウェアの種類を選ぶ方法の2つがあります。

便利な機能を使う

Windows には、作業を効率化するための便利な機能が豊富に用意されています。マウスの右ボタンを使うと、簡単に情報にアクセスしたり、情報を移動したりできます。また、文書やプログラムなど、いろいろな項目へのショートカットを作ることもできます。

ファイルをすばやくコピーまたは移動する

マウスの右ボタンを使うと、ファイルをすばやくコピーしたり、移動したりできます。これには、メニュー コマンドを使う方法と、"ドラッグ" する方法の 2 つがあります。

マウスの右ボタンでファイルを移動またはコピーするには

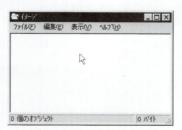
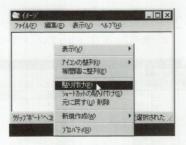
ヒント

フロッピー ディスクにファイルをコピーする場合は、マウスの右ボタンでファイルをクリックし、[送る] をクリックすると、簡単にコピーできます。

Windows のいろいろな項目をマウスの右ボタンでクリックすると、ショートカット メニューが表示されます。このメニューには、クリックした項目に対してよく使うコマンドが登録されています。

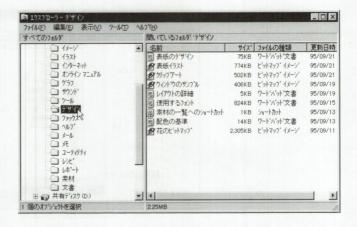
1 目的のファイルをマウスの右ボタンでクリックします。

2 ファイルを移動するには、[切り取り] をクリックします。コピーするには、[コピー] をクリックします。

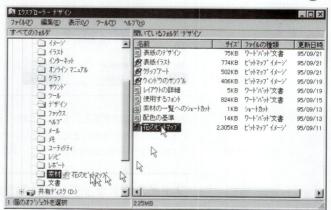
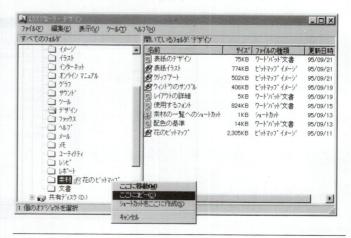
3 移動先またはコピー先のフォルダを開きます。次に、ウィンドウの中の空いている場所をマウスの右ボタンでクリックします。

◀4 [貼り付け] をクリックします。

マウスでドラッグすると、さらにすばやく情報を移動したり、コピーしたりできることがあります。また、複数のファイルやフォルダを別のフォルダやディスク ドライブに移動またはコピーすることもできます。

ファイルをドラッグして移動またはコピーするには

▼1 Windows エクスプローラで、目的のファイルが入っているフォルダを開きます。

▼2 マウスの右ボタンでファイルをドラッグします。移動先またはコピー先のフォルダにドラッグし、マウスのボタンを離します。

ヒント

マウスの左ボタンでドラッグしても、ファイルを移動またはコピーできます。同じドライブのフォルダの間でファイルをドラッグすると、ファイルは移動します。異なるドライブのフォルダの間でファイルをドラッグすると、ファイルはコピーされます。

▼3 [ここに移動] または [ここにコピー] をクリックします。

デスクトップにショートカットを置く

"ショートカット"を使うと、頻繁に利用するファイルやプログラムに簡単にアクセスできます。たとえば、Daily Log というファイルに毎日の行動を記録している場合、Daily Log へのショートカットを作り、Windows のデスクトップに置いておきます。

このようにすると、実際のファイルを探さなくても、デスクトップのショートカット アイコンをダブルクリックするだけで、ファイルを開くことができます。ショートカットを作っても、元のファイルの場所は変わりません。簡単にファイルを開くことができるようになるだけです。ファイルのほかにも、フォルダ、ディスク ドライブ、ほかのコンピュータ、プリンタなど、いろいろな項目へのショートカットを作ることができます。

デスクトップにショートカットを置くには

▼1 マイ コンピュータまたは Windows エクスプローラで、目的の項目を探します。

▼2 マウスの右ボタンで項目をデスクトップにドラッグし、マウスのボタンを離します。

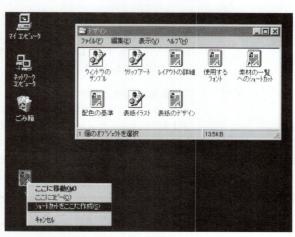
ヒント

ショートカットは、デスクトップに置くだけでなく、フォルダに入れることもできます。

ショートカットを削除しても、元のファイルが削除されることはありません。また、元のファイルを削除しても、ショートカットが自動的に削除されることはありません。

参照

ファイルの検索については、「第１章 基本的な操作」の「コンピュータの中のファイルやフォルダを探す」を参照してください。

▼3 [ショートカットをここに作成] をクリックします。

▲ ショートカットが作成され、デスクトップに表示されます。

プログラムをすぐに使える状態にする

頻繁に利用するプログラムをすぐに使える状態にしておくと、すばやく作業に取りかかることができます。

たとえば、Windows を起動したときに自動的にプログラムが起動されるようにするには、プログラムへのショートカットを作り、[スタートアップ] フォルダに入れておきます。

Windows の起動時にプログラムが起動されるようにするには

ヒント

通常のウィンドウの状態ではなく、最小化の状態でプログラムを起動することもできます。詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「最小化, ウィンドウ」を検索し、説明を参照してください。

▸1 Windows エクスプローラで、目的のプログラムを探し、マウスの右ボタンでクリックします。

▾2 [ショートカットの作成] をクリックします。新しいショートカット アイコンが表示されます。

▼3 [スタートアップ] フォルダを表示するには、ウィンドウの右側のボックスで、[Windows] フォルダ、[スタート メニュー] フォルダ、[プログラム] フォルダの順に、左のプラス記号 (+) をクリックします。

▼4 作成したショートカット アイコンを [スタートアップ] フォルダにドラッグします。

▲ [スタートアップ] フォルダにプログラムが追加されます。このプログラムは、Windows を起動するたびに起動されるようになります。

ほかの方法でプログラムをすぐに使える状態にする

- マイ コンピュータまたは Windows エクスプローラから、プログラムのアイコンを [スタート] ボタンにドラッグします。このプログラムは、[スタート] メニューの一番上に表示されるようになります。
- [プログラム] メニューのフォルダにプログラムを登録します。または、[プログラム] メニューに新しいフォルダを追加します。詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「[プログラム] メニュー」を検索し、説明を参照してください。
- プログラムやファイルへのショートカットを作り、Windows のデスクトップに置いておきます。詳細については、この章の「デスクトップにショートカットを置く」を参照してください。

日本語を入力する

Windows 95 には、日本語を入力するために、日本語入力システム MS-IME95 が用意されています。日本語入力システムは、キーボードから入力した文字を日本語に変換する機能を持っています。また、Windows 95 では、日本語入力システムの種類や状態をアプリケーションごとに使い分けたり、簡単に切り替えたりできます。

MS-IME95 を使う

日本語入力システムとして、MS-IME95 が選ばれているときは、タスクバーに次のインジケータが表示されます。

ヒント

多国語インジケータに表示する日本語入力システムや言語を設定するには、コントロール パネル の [キーボード] アイコンをダブルクリックします。

日本語入力インジケータや多国語インジケータがタスクバーに表示されない場合は、[キーボード] アイコンをダブルクリックし、[言語] タブの [タスクバー上に状態を表示] チェック ボックスがオンになっていることを確かめます。

日本語入力インジケータ

日本語入力インジケータは、日本語入力モードの状態を示します。日本語を入力するには、日本語入力モードをオンにします。

- 日本語入力モードがオンのとき
- 日本語入力モードがオフのとき

多国語インジケータ

多国語インジケータは、複数の日本語入力システムや言語がインストールされている場合に表示されます。上のインジケータは、MS-IME95 が選ばれていることを示します。ほかのインジケータが表示されているときは、MS-IME95 以外の日本語入力システムや言語が選ばれています。

日本語入力モードのオン/オフを切り替えるには

▼1 タスクバーの日本語入力インジケータをクリックし、[日本語入力 - オン] をクリックします。

▶2 日本語入力モードをオフにするには、日本語入力インジケータの [日本語入力 - オフ] をクリックします。

キーボードから MS-IME95 を起動するには、**漢字**キーを押します。

MS-IME95 ツールバーの機能

MS-IME95 には、入力や変換などの日本語モードの状態を示したり、環境を設定したりするために便利なツールバーがあります。このツールバーは、上端の青い部分をドラッグすると、自由に移動できます。また、ツールバーに表示するボタンの種類は、環境設定で変えることができます。

MS-IME95 ツールバー

ツールバーのボタンの機能を、次のページに示します。

参照

日本語入力インジケータや多国語インジケータの詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「日本語入力システム」を検索し、説明を参照してください。

ボタン	機能
あ	現在の入力モードが表示されます。入力モードには、全角ひらがな、全角カタカナ、全角英数、半角カタカナ、半角英数、および直接入力があります。ほかの入力モードに変えるには、ボタンをクリックし、入力モードの一覧から目的のモードを選びます。
連	現在の入力方式が表示されます。入力方式には、連文節変換、複合語優先変換、自動変換、および無変換があります。ほかの入力方式に変えるには、ボタンをクリックし、入力方式の一覧から目的の方式を選びます。初期設定の状態では、このボタンは表示されません。
	難解な漢字や記号を入力するために便利な [単漢字検索] ウィンドウを起動します。
	単語や用例を辞書に登録するための [単語/用例の登録] ダイアログ ボックスを表示します。
	各種の環境を設定するための [MS-IME95 のプロパティ] ダイアログ ボックスを表示します。
	MS-IME95 のヘルプを表示します。
CAPS KANA	カナキーと **CapsLock** キーの状態が表示されます。

MS-IME95 ツールバーを表示するには

▼1 タスクバーの日本語入力インジケータをクリックし、[ツールバーを表示] をクリックします。

▲ 既にツールバーが表示されている状態のときは、コマンドに印が付いています。

►2 ツールバーを表示しないようにするには、日本語入力インジケータの [ツールバーを表示] をクリックし、コマンドの印を消します。

日本語入力システムを切り替える

複数の日本語入力システムがインストールされている場合、Windows 95では、タスクバーの多国語インジケータで、目的の日本語入力システムに簡単に切り替えることができます。

別の日本語入力システムに切り替えるには

▼1 タスクバーの多国語インジケータをクリックし、目的の日本語入力システムをクリックします。

ヒント

キーボードで日本語入力システムを切り替えるには、初期設定の状態では、左 **Alt** キーを押しながら **Shift** キーを押します。

▲ 現在インストールされている日本語入力システムの一覧が表示されます。

MS-IME95 の詳しい使い方について

MS-IME95 の具体的な操作方法については、MS-IME95 ツールバーから表示できるヘルプを参照してください。ヘルプでは、初めて日本語入力システムをお使いになる方のために、日本語入力の手順、ローマ字入力とかな入力の切り替え、入力や変換の基本操作などを、例を示しながら説明しています。また、単語登録や辞書管理の方法、漢字コード表なども参照できます。

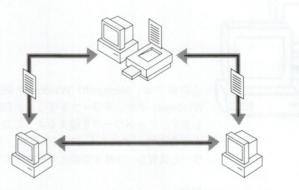
第　3　章

ネットワークの基礎知識

この章では、Microsoft® Windows® 95 Operating System (以下 Windows) でネットワークを使うための基本的な操作について説明します。ネットワークを使えるようにコンピュータをセットアップする方法や、ファイル、プログラム、プリンタなどをほかのユーザーと共有し、作業を効率化する方法について説明します。

目次

ネットワークを使う

ネットワークとは、互いに接続されたコンピュータ、またはサーバーを中心に接続されたコンピュータのグループのことです。ネットワークに接続されているコンピュータは、ファイルやプリンタなどの "リソース" を共有できます。

ネットワークに接続すると、次のようなことができます。

- フロッピー ディスクでやりとりしなくても、ほかのコンピュータのプログラムやファイルを使用できます。
- ほかのコンピュータに接続されているプリンタでドキュメントを印刷したり、ほかのコンピュータのFAXモデムを使ったりできます。これらのプリンタやFAXモデムは、自分のコンピュータに接続されている場合と同じように使用できます。
- インターネットにアクセスできます。
- 電子メールでメッセージをやりとりしたり、自宅からオフィスのコンピュータに接続したりできます。

参照

インターネットにアクセスする方法については、この章の「インターネットに接続する」を参照してください。

ネットワーク コンピュータを使う

ネットワークを使えるようにコンピュータがセットアップされている場合は、デスクトップに [ネットワーク コンピュータ] アイコンが表示されます。

[ネットワーク コンピュータ] アイコンをダブルクリックすると、同じ "ワークグループ" に属しているコンピュータが表示されます。また、NetWare サーバーに接続している場合は、サーバーも表示されます。通常は、ネットワーク管理者の設定によって、必要なリソースのほとんどが同じワークグループの中のコンピュータに用意されています。

[ネットワーク コンピュータ] ウィンドウには、[ネットワーク全体] アイコンが表示されます。このアイコンをダブルクリックすると、同じワークグループに属していない、ネットワークに接続されているほかのコンピュータを見ることができます。

ネットワークを使えるようにコンピュータがセットアップされていない場合は、次の「ネットワークを使えるようにコンピュータをセットアップする」を参照してください。

ネットワークを使えるようにコンピュータをセットアップする

ネットワークをセットアップするには、大きく分けて 2 つのステップがあります。1 つはハードウェアのセットアップ、もう 1 つはソフトウェアのセットアップです。

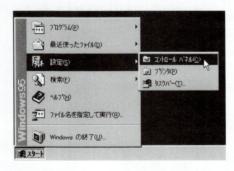
注 既にネットワークを使えるようにコンピュータがセットアップされている場合もあります。Windows を起動したときに、ネットワークのパスワードを入力するダイアログ ボックスが表示され、デスクトップに [ネットワーク コンピュータ] アイコンが表示される場合は、既にネットワークがセットアップされています。この場合は、次の「自分のコンピュータのフォルダやプリンタを共有できるようにする」に進んでください。

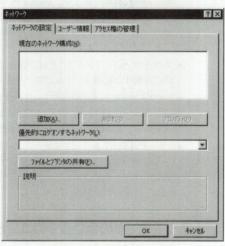
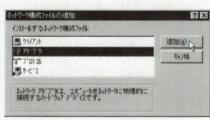
ソフトウェアをセットアップする前に、ネットワーク ハードウェアが正しくインストールされていることを確かめてください。ネットワーク ハードウェアには、ネットワーク アダプタ (ネットワーク カードなど) とケーブルがあります。

ネットワーク ソフトウェアをセットアップするには

▾1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントします。次に、[コントロール パネル] をクリックします。

◂2 [ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

ヒント

コントロール パネルの [ネットワーク] アイコンをダブルクリックすると、ネットワークの構成要素を追加または削除したり、インストールされている構成要素の設定を変えたりできます。

自宅や外出先からオフィスのコンピュータに接続したり、オフィスのコンピュータが接続されているネットワークにアクセスしたりできます。詳細については、この章の「ダイヤルアップ ネットワークを使う」を参照してください。

◂3 [追加] をクリックします。

◂4 [アダプタ] をクリックし、[追加] をクリックします。

▸5 画面に表示される指示に従って操作します。アダプタの種類がわからない場合は、ハードウェアのマニュアルを参照してください。

ネットワーク アダプタをセットアップすると、ほかの必要な構成要素も自動的にセットアップされます。

参照

ダイアログ ボックスの各項目のヘルプを表示するには、ウィンドウの右上の [?] ボタンをクリックし、目的の項目をクリックしてください。

ネットワークの構成要素

- "クライアント" ソフトウェアを使うと、ネットワーク リソースに接続し、ネットワーク上のコンピュータで共有されているフォルダやプリンタを使用できます。

  NetWare ネットワーク クライアントを使うと、Novell® NetWare® サーバーに接続できます。Microsoft ネットワーク クライアントを使うと、Microsoft Windows 95、Microsoft® Windows® for Workgroups、Microsoft® Windows NT™、および Microsoft® LAN Manager が実行されているコンピュータの共有リソースを使用できます。
- ネットワーク "アダプタ" とは、コンピュータをネットワークに物理的に接続する拡張カードなどのデバイスのことです。
- "プロトコル" とは、ネットワークを通じて情報をやりとりするときにコンピュータが使う言葉のことです。2 台のコンピュータが通信するためには、両方が同じプロトコルを使う必要があります。
- "サービス" ソフトウェアを使うと、自分のコンピュータのファイルやプリンタをほかのユーザーと共有したり、ネットワーク サーバーに自動的にデータをバックアップしたりできます。

ネットワークの中で自分のコンピュータを特定する

ネットワーク ソフトウェアをセットアップしたら、ネットワークの中で自分のコンピュータを特定する情報を指定する必要があります。たとえば、ネットワーク管理者によってワークグループが設定されている場合は、コンピュータ名やワークグループ名を指定する必要があります。通常は、必要なリソースのほとんどが同じワークグループの中のコンピュータにあります。

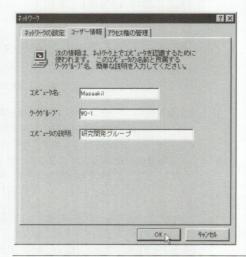
参照

共有の詳細については、この章の「自分のコンピュータのフォルダやプリンタを共有できるようにする」を参照してください。

ネットワークの中で自分のコンピュータを特定するには

▼1 [ネットワーク] ダイアログ ボックスの [ユーザー情報] タブをクリックします。

▼2 コンピュータ名、ワークグループ名、およびコンピュータの説明を入力します。説明は、ほかのユーザーがネットワークでコンピュータの情報を見るときに、一覧に表示されます。

■ 参照

ダイアログ ボックスの各項目のヘルプを表示するには、ウィンドウの右上の [?] ボタンをクリックし、目的の項目をクリックしてください。

自分のコンピュータのフォルダやプリンタを共有できるようにする

Microsoft ネットワークまたは NetWare ネットワークのファイルとプリンタの共有サービスがインストールされていれば、自分のコンピュータのファイルや、自分のコンピュータに接続されているプリンタを、ネットワークのほかのユーザーと "共有" できます。ファイルを共有するには、ファイルが保存されているフォルダを共有します。

共有リソースを使うためのアクセス権

ネットワークで共有されているフォルダやプリンタに、ほかのユーザーがアクセスできるように設定するには、次の 2 つの方法があります。

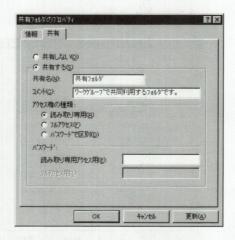
- 共有レベルのアクセス管理。共有リソースを使うユーザーは、個別のリソースに設定されているパスワードを知っている必要があります。
- ユーザー レベルのアクセス管理。リソースを共有できるように設定するときに、アクセス権を与えるユーザーやグループを指定します。この方法でアクセスを管理する場合は、ユーザーの一覧が保存されているコンピュータまたはドメインを指定する必要があります。

リソースを共有できるように設定すると、自動的にアクセス権が設定されます。ほかの方法でアクセスを管理する手順については、ヘルプの [キーワード] 画面で「コンピュータへのアクセス」を検索し、説明を参照してください。

参照

ファイルとプリンタの共有サービスをインストールする方法については、ヘルプの [キーワード] 画面で「行うように設定, ファイルとプリンタの共有」を検索し、説明を参照してください。

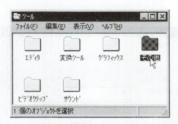
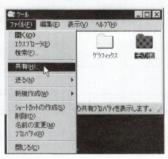
注 フォルダやプリンタを共有できるように設定するダイアログ ボックスの内容は、アクセス管理の方法によって異なります。ユーザー レベルのアクセス管理を使っている場合は、次のようなダイアログ ボックスが表示されます。

共有レベルのアクセス管理を使っている場合は、次のようなダイアログ ボックスが表示されます。

以下の手順は、共有レベルのアクセス管理を使っている場合の操作方法です。

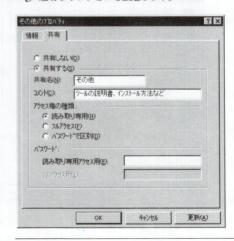
フォルダを共有できるようにするには

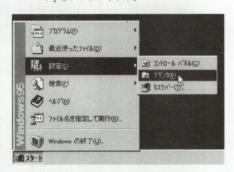
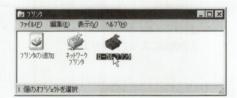
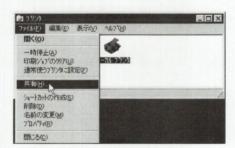
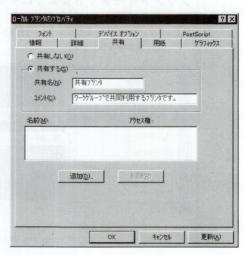
ヒント

同じ手順で、ディスク ドライブ全体を共有することもできます。この場合は、フォルダではなく、ドライブのアイコンをクリックします。

自宅や外出先のコンピュータから、共有リソースにアクセスすることもできます。詳細については、この章の「ダイヤルアップ ネットワークを使う」を参照してください。

◂1 共有するフォルダをクリックします。

◂2 [ファイル] メニューの [共有] をクリックします。

▾3 適切なオプションを設定します。

プリンタを共有できるようにするには

▼1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントします。次に、[プリンタ] をクリックします。

▼2 [プリンタ] ウィンドウで、共有するプリンタをクリックします。

▼3 [ファイル] メニューの [共有] をクリックします。

▼4 適切なオプションを設定します。

注 プリンタのプロパティ ダイアログ ボックスに表示されるタブは、プリンタの機種によって異なります。

ほかのコンピュータのリソースを使う

ほかのコンピュータのファイルやフォルダは、自分のコンピュータのファイルやフォルダと同じように使うことができます。ネットワークで共有されているリソースを使うには、リソースが入っているフォルダを開きます。

共有フォルダを使うには

1 [ネットワーク コンピュータ] アイコンをダブルクリックします。

ヒント

目的のコンピュータが同じワークグループに属していない場合は、[ネットワーク全体] アイコンをダブルクリックします。

ネットワーク リソースへのショートカットを作ることもできます。ショートカットの詳細については、「第２章 いろいろな操作」の「デスクトップにショートカットを置く」を参照してください。

[スタート] メニューの [検索] コマンドや [ファイル名を指定して実行] コマンドで、ネットワーク リソースを探すこともできます。詳細については、「第１章 基本的な操作」を参照してください。

2 目的のフォルダが保存されているコンピュータのアイコンをダブルクリックします。

3 目的のファイルやプログラムが保存されているフォルダをダブルクリックします。

ネットワークで共有されているプリンタを使うには、目的のプリンタを自分のコンピュータにセットアップする必要があります。詳細については、「第2章 いろいろな操作」の「プリンタをセットアップする」を参照してください。

ネットワーク リソースにドライブ名を割り当てる

同じ共有フォルダに何度も接続する必要がある場合は、共有フォルダにドライブ名を割り当てることができます (例: ドライブ K、ドライブ S など)。ドライブ名を割り当てておくと、マイ コンピュータまたは Windows エクスプローラでドライブを切り替えるだけで、目的のリソースを使用できます。

ネットワーク リソースにドライブ名を割り当てる方法については、ヘルプの [キーワード] 画面で「割り当て, ドライブ名」を検索し、説明を参照してください。

ダイヤルアップ ネットワークを使う

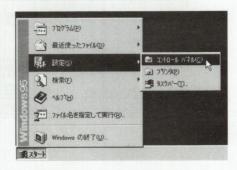
ダイヤルアップ ネットワークを使うと、自宅や外出先からオフィスのコンピュータに接続したり、オフィスのコンピュータが接続されているネットワークにアクセスしたりできます。モデムを使ってコンピュータに"ダイヤル イン"すると、フォルダやプリンタなど、接続先のコンピュータやネットワークの共有リソースを使用できます。

このような方法で、2台のコンピュータを接続するには、両方のコンピュータにモデムをセットアップする必要があります。また、両方のコンピュータでダイヤルアップ ネットワークをセットアップし、接続先のコンピュータをサーバーとしてセットアップする必要があります。

注 ダイヤルアップ ネットワークでコンピュータをサーバーとしてセットアップする機能は、Windows 95 には含まれていません。別売の「Microsoft® Plus!」などが必要です。

[マイ コンピュータ] ウィンドウに [ダイヤルアップ ネットワーク] アイコンが表示されない場合、ダイヤルアップ ネットワークをセットアップするには、次のようにします。

ダイヤルアップ ネットワークをセットアップするには

▼1 [スタート] ボタンをクリックし、[設定] をポイントします。次に、[コントロール パネル] をクリックします。

ヒント

シリアル ケーブルやパラレル ケーブルでコンピュータを接続することもできます。詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「ケーブル接続」を検索し、説明を参照してください。

▼2 [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。

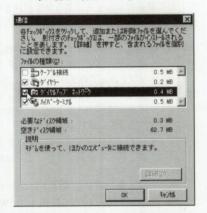
ヒント

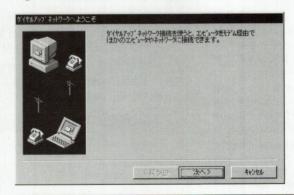
[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログ ボックスでは、Windows をセットアップしたときにインストールしなかったアクセサリをインストールできます。

▼3 [Windows ファイル] タブをクリックし、[ファイルの種類] ボックスの [通信] をクリックします。次に、[詳細] をクリックします。

▼4 [ダイヤルアップ ネットワーク] チェック ボックスをオンにし、[OK] をクリックします。次に、もう一度 [OK] をクリックし、画面に表示される指示に従って操作します。

ヒント

接続先のコンピュータでダイヤルアップ ネットワークをセットアップした後に、使用するフォルダが共有されていることを確かめてください。

◂5 [マイ コンピュータ] アイコンをダブルクリックし、[ダイヤルアップ ネットワーク] アイコンをダブルクリックします。

▼6 画面に表示される指示に従って操作します。

参照

詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「ダイヤルアップ ネットワーク」を検索し、説明を参照してください。

フォルダの共有については、この章の「自分のコンピュータのフォルダやプリンタを共有できるようにする」を参照してください。

インターネットに接続する

インターネットは、情報の宝庫です。電子掲示板、電子会議室、電子メールなどから最新のニュースに至るまで、いろいろな情報にアクセスできます。Windows からインターネットに接続するには、次の 2 つの方法があります。

- The Microsoft Network を使います。The Microsoft Network は、新しいオンライン サービスです。インターネット ニュース グループへのアクセス、ソフトウェアのダウンロード、インターネット経由の電子メールを送受信などを行うことができます。The Microsoft Network にサインアップするには、デスクトップの [The Microsoft Network] アイコンをダブルクリックします。
- ダイヤルアップ ネットワークを使います。インターネット アクセス プロバイダを通じて接続するか、または直接サーバーから接続できます。Windows に付属しているユーティリティの FTP や TELNET を使うと、各地のインターネット サイトにアクセスできます。また、Windows ベースのほかのプログラムを使うと、World Wide Web (WWW) をブラウズできます。これらのプログラムは、FTP サイトからダウンロードしたり、ソフトウェア メーカーから購入したりできます。

ほかのネットワーク機能

ネットワークに接続している場合は、ほかにも次のような機能が使用できます。

- 電子メールを送受信できます。詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「Microsoft Exchange」を検索し、説明を参照してください。
- ネットワーク リソースへのショートカットを作成できます。ショートカットの詳細については、「第 2 章 いろいろな操作」の「デスクトップにショートカットを置く」を参照してください。
- [ファイル名を指定して実行] コマンドで、ネットワーク リソースに接続できます。詳細については、「第 1 章 基本的な操作」の「[ファイル名を指定して実行] コマンドでプログラムを起動する」を参照してください。

参照

インターネットへの接続については、ヘルプの [キーワード] 画面で「インターネット, 接続」を検索し、説明を参照してください。

ダイヤルアップ ネットワークの詳細については、この章の「ダイヤルアップ ネットワークを使う」を参照してください。

The Microsoft Network の詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「The Microsoft Network (MSN)」を検索し、説明を参照してください。

第 4 章

いろいろな機能

この章では、Microsoft® Windows® 95 Operating System (以下 Windows) のいろいろな機能を簡単に紹介します。それぞれの機能の詳細については、関連するヘルプ トピックを検索し、説明を参照してください。

この章で説明する機能を使用できない場合は、この章の「Windows のプログラムが使用できない場合」を参照してください。

目次

Windows を楽しく使う

仕事の合間にゲームで遊んだり、Windows のデザインを変えたりして楽しむことができます。Windows の楽しい使い方のいくつかを、以下に紹介します。

サウンドやアニメーションを楽しむ

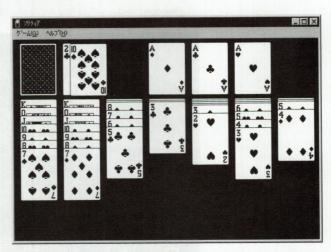
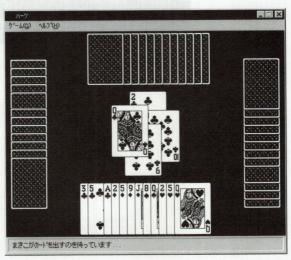
Windows には、豊富なマルチメディア機能が用意されています。CD プレーヤーでの音楽 CD の再生、サウンド レコーダーでのサウンドの再生と録音、メディア プレーヤーでのアニメーションの再生などを行うことができます。

サウンド レコーダーやメディア プレーヤーでサウンドを再生するには、コンピュータにサウンド カードがセットアップされている必要があります。

参照

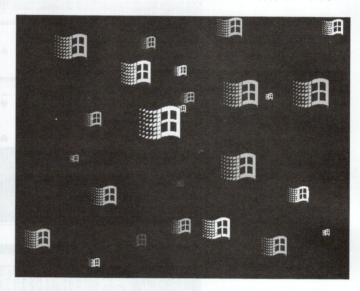
マルチメディア機能の詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「マルチメディア」を検索し、説明を参照してください。

ゲームで遊ぶ

ゲームを楽しみたいときは、Windows に付属しているゲームにチャレンジしてみてください。簡単に楽しめるトランプ ゲームのソリティアなどが付属しています。

参照

ゲームの詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「ゲーム」を検索し、説明を参照してください。

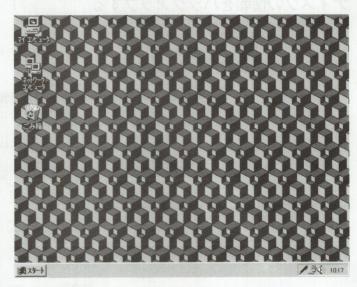
スクリーン セーバーを設定する

スクリーン セーバーを使うと、コンピュータの画面の焼き付きを防止できます。また、コンピュータから離れている間に、ほかのユーザーが作業中の画面を見たり、無断でコンピュータを操作したりするのを防ぐことができます。Windows には、いろいろなスクリーン セーバーが付属しています。

▲ "フライング Windows" スクリーン セーバー

参照

スクリーン セーバーの詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「スクリーン セーバー」を検索し、説明を参照してください。

Windows のデザインを変える

画面に表示する絵や模様、または画面の配色をコントロール パネルで指定すると、Windows の外観を好みに合わせて変えることができます。たとえば、絵や模様、またはスキャナで取り込んだ画像を "壁紙" として表示できます。また、Windows に登録されている別の配色に変えたり、独自の配色を作って登録したりできます。

▲ "赤レンガ" 壁紙

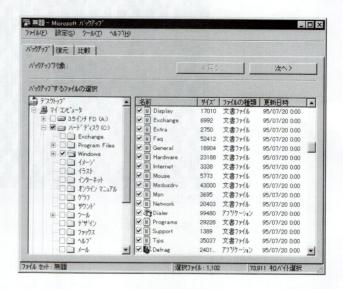
参照

Windows の外観を変える方法については、ヘルプの [キーワード] 画面で「設定, デスクトップの設定を変える」を検索し、説明を参照してください。また、「壁紙, 表示」および「色」の項目も参照してください。

システムをメンテナンスする

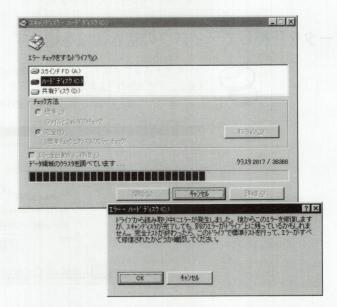
Windows に付属しているツールで、定期的にハード ディスクをメンテナンスすることをお勧めします。これらのツールは、[アクセサリ] フォルダの中の [システム ツール] フォルダに入っています。

ディスクの情報をバックアップする

ファイルをバックアップしておけば、ハード ディスクに障害が起きた場合や、誤ってデータを上書きしたり、削除したりしてしまった場合にも、データを失わずに済みます。

参照

バックアップの詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「バックアップ」を検索し、説明を参照してください。

スキャンディスクでディスクをチェックし、修復する

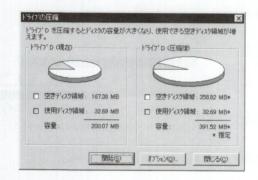
スキャンディスクを使うと、ハード ディスクのファイルやフォルダにデータ エラーがないかどうかをチェックできます。また、ディスクの表面に物理エラーがないかどうかもチェックできます。

参照

ディスクの修復の詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「スキャンディスク」を検索し、説明を参照してください。

コンピュータを最適化する

Windows には、コンピュータのパフォーマンスを上げるためのツールが用意されています。これらのツールは、[アクセサリ] フォルダの中の [システム ツール] フォルダに入っています。

データを圧縮してディスクの空き領域を増やす

ハード ディスクやフロッピー ディスクのデータをドライブスペースで圧縮すると、ディスクの空き領域を増やすことができます。ドライブを圧縮すると、ディスクの空き領域は、通常、50 ~ 100 % 増えます。

ファイルの断片を連続化する

長期間ハード ディスクを使っていると、ファイルはしだいに分断され、ディスクのあちこちの場所に保存されたいくつもの断片になってしまいます。このようなファイルは、問題なく開くことはできますが、通常のファイルと比べると、読み取りと書き込みに余分な時間がかかります。ファイルの断片を連続化し、パフォーマンスを上げるには、デフラグを使います。

参照

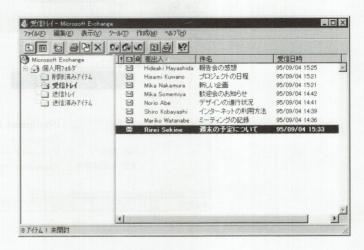
ドライブスペースの詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「圧縮, ディスク」を検索し、説明を参照してください。

デフラグの詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「最適化, ハード ディスク」を検索し、説明を参照してください。

世界中の人々と通信する

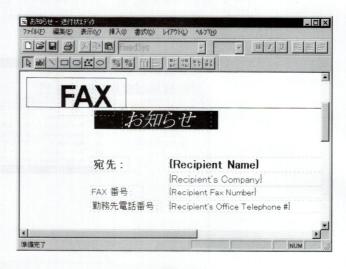
Windows の豊富な通信機能を使うと、仕事仲間や友達だけでなく、世界中の人々と情報をやりとりできます。

電子メールで情報を共有する

Microsoft® Exchange には、電子メールの送信と受信に使用できる汎用の受信トレイがあります。このトレイを使うと、FAX メッセージや、オンラインサービスから受け取ったデータなど、いろいろな種類の情報の管理、アクセス、および共有ができます。

参照

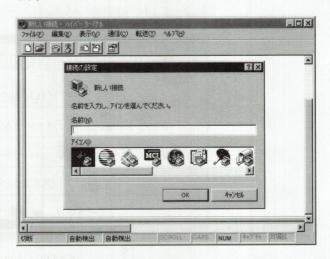
電子メールの使い方については、ヘルプの [キーワード] 画面で「Microsoft Exchange」を検索し、説明を参照してください。

FAX メッセージを送受信する

Microsoft Fax を使うと、FAX メッセージを送受信できます。必要なのは、FAX モデムだけです。FAX モデムは、ネットワークに接続されていても、自分のコンピュータに接続されていてもかまいません。受け取った FAX メッセージは、Microsoft Exchange の受信トレイにメッセージとして表示されます。Microsoft Fax には、送付状エディタと、送付状のサンプルが付属しています。また、編集できない FAX メッセージを表示する FAX ビューアが付属しています。

参照

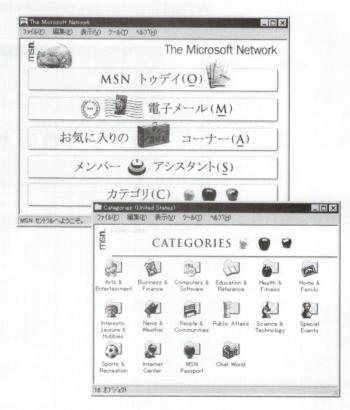
Microsoft Fax の詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「FAX」を検索し、説明を参照してください。

ほかのコンピュータに接続する

ハイパー ターミナルとモデムを使うと、Windows が実行されていないリモート コンピュータに接続できます。商用ネットワーク、ホスト システム、テキスト ベースのオンライン サービスなどに簡単にアクセスできます。また、自動的にモデムを設定したり、自動的に電話をかけたりすることもできます。

■ 参照

ハイパー ターミナルの詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「ハイパー ターミナル」を検索し、説明を参照してください。

オンラインの世界を探検する

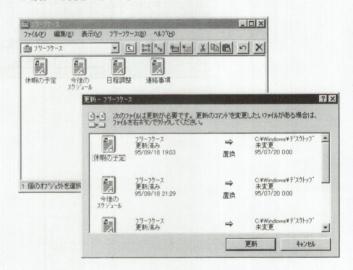
The Microsoft Network は、モデムを使って Windows 95 からアクセスできる、新しいオンライン サービスです。The Microsoft Network を使うと、世界中の人々とメッセージをやりとりしたり、最新のニュース、スポーツ情報、天気予報、金融情報などを入手したりできます。また、技術的な問題の解決方法を探す、膨大なファイル ライブラリからプログラムをダウンロードする、インターネットに接続するなど、いろいろな使い方ができます。

■ 参照

The Microsoft Network の詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「The Microsoft Network (MSN)」を検索し、説明を参照してください。

ポータブル コンピュータを使う

Windows には、ポータブル コンピュータで手軽に仕事を持ち歩きできるようにするためのプログラムが用意されています。

2 台のコンピュータでファイルを同じ状態に保つ

同じファイルを自宅とオフィスの両方のコンピュータで使ったり、外出中にポータブル コンピュータで使ったりすることがあります。このような場合、ブリーフケースを使うと、いくつもあるファイルのコピーを常に最新の状態に保つことができます。ブリーフケースは、2 台のコンピュータがケーブルで接続されている場合でも、フロッピー ディスクで情報をやりとりしている場合でも使用できます。

参照

ブリーフケースの使い方については、ヘルプの [キーワード] 画面で「ブリーフケース」を検索し、説明を参照してください。

コンピュータをケーブルで接続する方法については、ヘルプの [キーワード] 画面で「ケーブル接続」を検索し、説明を参照してください。

モデムを使って 2 台のコンピュータを接続する

ダイヤルアップ ネットワークを使うと、自分のコンピュータがネットワークに接続されていない場合でも、ほかのコンピュータの共有情報を使用できます。たとえば、自宅のコンピュータからオフィスのコンピュータに接続すると、オフィスのネットワークにアクセスできます。詳細については、「第 3 章 ネットワークの基礎知識」の「ダイヤルアップ ネットワークを使う」を参照してください。

ほかのプログラムを使う

Windows には、便利なプログラムが豊富に用意されていますが、ここでは2つのプログラムを紹介します。ほかのプログラムを見るには、[スタート] メニューの [プログラム] をポイントし、[アクセサリ] をポイントします。詳細については、それぞれのプログラムの [ヘルプ] メニューをクリックし、説明を参照してください。

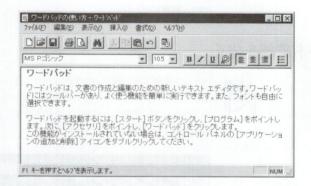
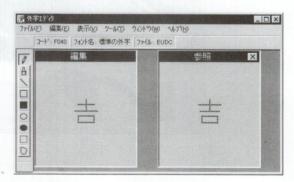
ペイントで絵を描く

ペイントを使うと、新しい絵を作ったり、既にある絵を編集したり、表示したりできます。ペイントで描いた絵は、ほかのドキュメントに貼り付けたり、デスクトップの壁紙として使ったりできます。また、スキャナで取り込んだ画像を表示し、編集することもできます。

参照

ペイントの詳細については、ペイントの [ヘルプ] メニューをクリックし、説明を参照してください。

ワードパッドで文書を作る

Windows には、短い文書に適した新しいワード プロセッサが付属しています。ワードパッドには、ツールバーがあり、基本的な操作を簡単に実行できます。また、書式バーのボタンを使うと、簡単に書式を設定できます。さらに、フォントを自由に選ぶこともできます。

また、標準で登録されていない外字や記号は、外字エディタを使って独自に作成できます。外字エディタでは、作成した外字を TrueType フォントとして印字できます。また、Windows® Version 3.1 で作った外字を取り込むこともできます。

参照

ワードパッドの詳細については、ワードパッドの [ヘルプ] メニューをクリックし、説明を参照してください。

外字エディタの詳細については、外字エディタの [ヘルプ] メニューをクリックし、説明を参照してください。

Windows のプログラムが使用できない場合

この章で説明している Windows のプログラムが使用できないことがあります。このような場合、通常は、Windows のセットアップ ディスクからプログラムをインストールすると、使用できるようになります。インストールの方法については、ヘルプの [キーワード] 画面で「インストール, Windows ファイル」を検索し、説明を参照してください。

[アプリケーションの追加と削除のプロパティ] ダイアログ ボックスの一覧にプログラムが表示されない場合は、CD-ROM 版の Windows だけに付属しているプログラムの可能性があります。

付録

目次

ショートカット キー

Windows では、以下のショートカット キーが使用できます。

Windows 全般で使うキー

目的の操作	キー
ダイアログ ボックスの中で選んだ項目のヘルプを表示	**F1**
プログラムの終了	**Alt** + **F4**
選択した項目のショートカット メニューを表示	**Shift** + **F10**
[スタート] メニューの表示	**Ctrl** + **Esc**
直前に使っていたウィンドウに切り替える。**Alt** キーを押しながら繰り返し **Tab** キーを押すと、ウィンドウや実行中のアプリケーションを次々と切り替えることができる。	**Alt** + **Tab**
切り取り	**Ctrl** + **X**
コピー	**Ctrl** + **C**
貼り付け	**Ctrl** + **V**
削除	**Del**
元に戻す	**Ctrl** + **Z**
CD の挿入時に自動再生しない	**Shift** キーを押しながら CD を挿入

デスクトップ、マイ コンピュータ、および Windows エクスプローラで使うキー

項目を選んだ状態で、以下のショートカット キーが使用できます。

目的の操作	キー
名前の変更	**F2**
フォルダやファイルの検索	**F3**
項目をごみ箱に入れずに直ちに削除	**Shift** + **Del**
プロパティの表示	**Alt** + **Enter**、または **Alt** キーを押しながらダブルクリック

目的の操作	キー
ファイルのコピー	**Ctrl** キーを押しながらファイルをドラッグ
ショートカットの作成	**Ctrl + Shift** キーを押しながらファイルをドラッグ

マイ コンピュータと Windows エクスプローラで使うキー

目的の操作	キー
すべて選択	**Ctrl + A**
最新の情報に更新	**F5**
1 つ上の階層のフォルダを表示	**BackSpace**
選択したフォルダと、そのフォルダのすべての親フォルダを閉じる	**Shift** キーを押しながら閉じるボタンをクリック
ウィンドウの左右やツールバーのボックスの切り替え	**F6**

Windows エクスプローラだけで使うキー

目的の操作	キー
移動	**Ctrl + G**
ウィンドウの左右やツールバーのボックスの切り替え	**F6**
選択したフォルダの下位のすべてのサブフォルダを展開して表示	**NumLock + *** (テンキーのアスタリスク)
選択したフォルダを展開して表示	**NumLock + +** (テンキーのプラス記号)
選択したフォルダを縮小して表示	**NumLock + -** (テンキーのマイナス記号)
選択したフォルダが縮小されている場合は、展開して表示。縮小されていない場合は、先頭のサブフォルダを選ぶ。	→
選択したフォルダが展開されている場合は、縮小して表示。展開されていない場合は、親フォルダを選ぶ。	←

プロパティ ダイアログ ボックスで使うキー

目的の操作	キー
次のオプションへ移動	**Tab**
前のオプションへ移動	**Shift + Tab**
次のタブへ移動	**Ctrl + Tab**
前のタブへ移動	**Ctrl + Shift + Tab**

[ファイルを開く] ダイアログ ボックスと [名前を付けて保存] ダイアログ ボックスで使うキー

目的の操作	キー
[保存する場所] ボックスまたは [ファイルの場所] ボックスの一覧を表示	**F4**
最新の情報に更新	**F5**
フォルダが選ばれている場合は、1 つ上の階層のフォルダを開く	**BackSpace**

ユーザー補助機能のショートカット キー

ユーザー補助機能のショートカット キーを使うには、ショートカット キーを使用できるようにあらかじめ設定しておく必要があります。詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「ユーザー補助, ショートカット キー」を検索し、説明を参照してください。

目的の操作	キー
固定キーを使うかどうかを切り替える	**Shift** キーを 5 回押す PC9800 の場合は、[NFER] キーを 5 回押す
フィルタ キーを使うかどうかを切り替える	右 **Shift** キーを 8 秒間押し続ける
切り替えキーを使うかどうかを切り替える	**NumLock** キーを 5 秒間押し続ける
マウス キーを使うかどうかを切り替える	左 **Alt** + 左 **Shift** + **NumLock**
ハイコントラストを使うかどうかを切り替える	左 **Alt** + 左 **Shift** + **PrintScreen**

ハンディキャップ ユーザーのための ユーザー補助機能

弊社では、使いやすい製品とサービスの提供を常に心がけています。ここでは、体の不自由な方のために用意された、Windows をより使いやすくするための機能を紹介します。

Windows のユーザー補助機能

Windows には、体の不自由な方のために、いろいろなユーザー補助機能が用意されています。ユーザー補助機能を使うと、画面表示、マウス、キーボードなどの機能を変えたり、音の使い方を設定したりして、Windows をより使いやすくすることができます。

ヒント

ユーザー補助機能がインストールされていない場合、インストールするには、コントロール パネルの [アプリケーションの追加と削除] アイコンをダブルクリックします。

たとえば、マウスが使いにくい場合は、マウス キーの機能を使うと、テンキーでマウス ポインタを動かすことができます。

ユーザー補助機能の内容を見るには、コントロール パネルの [ユーザー補助] アイコンをダブルクリックします。詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「ユーザー補助」を検索し、説明を参照してください。

トラブルシューティング

ここでは、Windows 95 の使用中に問題が起きた場合の対処方法について説明します。

トラブルシューティング ヘルプを使う

トラブルシューティング ヘルプを使うには、ヘルプの [目次] 画面で「トラブルシューティング」を探し、関連するトピックを表示します。画面に表示される指示に従って進みながら、問題の原因を突き止めることができます。トラブルシューティング ヘルプでは、次の問題を扱っています。

- 印刷に関する問題
- ディスクの空き領域に関する問題
- MS-DOS プログラムに関する問題
- モデムに関する問題
- ケーブル接続に関する問題
- Windows の起動に関する問題
- メモリに関する問題
- ハードウェアの競合に関する問題
- ネットワークに関する問題
- ダイヤルアップ ネットワークに関する問題
- PC カード (PCMCIA) に関する問題

起動ファイルを使わずに起動する

必要に応じて、一部のファイルを読み込まずにコンピュータを起動できます。この方法は、Windows の起動時に問題が起きた場合に便利です。

トラブルシューティング モードでコンピュータを起動するには

▸ 1 コンピュータを起動または再起動します。コンピュータが起動すると、次のようなメッセージが表示されます。

Starting Windows 95...
　または
Windows 95 を起動しています...

▸ 2 メッセージが表示されている間に **F8** キーを押し、すぐに離します。メニューが表示されます。

▸ 3 番号を入力するか、または↓キーでオプションを選び、**Enter** キーを押します。

起動時に **F8** キーを押したときに表示されるメニューのオプションは、次のページのとおりです。

オプション	説明
Normal 標準	通常の方法で Windows を起動します。
Logged (\BOOTLOG.TXT) ログ ファイル (¥BOOTLOG.TXT)	通常の方法で Windows を起動します。また、ルート ディレクトリ (起動ドライブの最上位のフォルダ) に、BOOTLOG.TXT というテキスト ファイルを作ります。このファイルには、どのファイルが起動時に正しく読み込まれたかという情報が保存されます。
Safe mode Safe モード	通常の設定ではなく、基本的な設定だけで Windows を起動します。システムの一部の機能は、通常のとおりに動作しないことがあります。Windows の起動後に、必要に応じて設定を変え、コンピュータを再起動してください。
Safe mode with network support Safe モード (ネットワーク サポート)	基本的な設定だけで Windows を起動します。また、ネットワークの機能を有効にします。
Step-by-step confirmation 各コマンドの実行を確認する	コンピュータの起動時に、起動コマンドを 1 行ずつ表示し、実行するかどうかを確認します。コマンドを実行するには、**Enter** キーを押します。実行せずに次のコマンドに進むには、**Esc** キーを押します。このオプションを使うと、必要なファイルだけを読み込むことができます。
Command prompt only コマンド プロンプトのみ	通常の方法でコンピュータを起動します。ただし、Windows は起動しません。Windows を起動するには、「win」と入力します。
Safe mode command prompt only Safe モード (コマンド プロンプトのみ)	通常の設定ではなく、基本的な設定だけでコンピュータを起動します。ただし、Windows は起動しません。
Previous version of MS-DOS 以前のバージョンの MS-DOS	Windows のセットアップ時にバックアップしておいたファイルで MS-DOS を起動します。MS-DOS のバージョンは、Windows 95 をセットアップする前に使っていたバージョンによって異なります。

レジストリを復元する

レジストリが壊れた場合、復元するには、次のようにします。レジストリを復元すると、最後に正しくコンピュータが起動した時点のレジストリの情報がコピーされます。

レジストリを復元するには

▸ 1 コンピュータを起動または再起動します。コンピュータが起動すると、次のようなメッセージが表示されます。

Starting Windows 95...
または
Windows 95 を起動しています...

▸ 2 メッセージが表示されている間に **F8** キーを押し、すぐに離します。メニューが表示されます。

▸ 3 "Command prompt only (コマンド プロンプトのみ)" を選びます。

▸ 4 コマンド プロンプトで、Windows がセットアップされているディレクトリに切り替えます。たとえば、C:¥WINDOWS に Windows がセットアップされている場合は、次のように入力します。

cd c:¥windows

▸ 5 次のコマンドを入力します。それぞれのコマンドの後で、**Enter** キーを押します。(SYSTEM.DA0 と USER.DA0 の "0" は、数字のゼロです。)

attrib -h -r -s system.dat
attrib -h -r -s system.da0
attrib -h -r -s user.dat
attrib -h -r -s user.da0

▸ 6 製品サポートに連絡する場合は、次のように入力し、分析のためのファイルを作ります。

copy system.dat system.bak
copy user.dat user.bak

▸ 7 次のように入力します。

copy system.da0 system.dat
copy user.da0 user.dat

▸ 8 コンピュータを再起動します。

ドライブスペースの使用時の MS-DOS プログラムの実行

ディスク圧縮プログラムのドライブスペースを使うと、MS-DOS ベースのプログラムの実行に必要なメモリを確保できないことがあります。MS-DOS プログラムで使用できるメモリを増やすには、トラブルシューティング モードでコンピュータを起動し、"Step-by-step confirmation (各コマンドの実行を確認する)" を選びます。次に、ドライブスペースを読み込まないようにして、プログラムの実行に必要なデバイス ドライバとファイルだけを読み込みます。

詳細については、ヘルプの [キーワード] 画面で「MS-DOS プログラム, トラブルシューティング」を検索し、説明を参照してください。

注 実行するプログラムと、実行に必要なファイルは、ホスト ドライブ (圧縮されていないドライブ) に保存されている必要があります。ドライブスペースを読み込まないようにすると、圧縮ドライブからファイルを読み込むことはできなくなります。読み込もうとすると、ファイルが破損しているか、または見つからないというメッセージが表示されます。プログラムの実行に必要なファイルについては、プログラムのマニュアルを参照してください。

トラブルシューティングに関するほかの情報源

Windows 95 をセットアップするときに問題が起きた場合は、Windows に付属しているファイルの SETUP.TXT を参照してください。ほかの問題が起きた場合は、README.TXT を参照してください。README.TXT には、問題の種類に応じて参照する README ファイルの一覧が載っています。

用語集

記号

[?] ボタン

ダイアログ ボックスの項目のヘルプを表示するためのボタン。このボタンをクリックし、ウィンドウの中の項目をクリックすると、項目の説明がポップアップ ウィンドウに表示されます。

C

CD プレーヤー

コンピュータに接続されている CD-ROM ドライブで、音楽 CD を再生するためのプログラム。

M

Microsoft Exchange

電子メールの送受信に使用できる汎用のトレイを使い、FAX メッセージやオンライン サービスのデータなど、いろいろな種類の情報の管理、アクセス、および共有を行うプログラム。

Microsoft Fax

Windows から直接 FAX メッセージを送受信するためのプログラム。

MIDI

Musical Instrument Digital Interface の略。このインターフェイスを使うと、音楽やサウンドを楽器、シーケンサ、コンピュータなどの間でやりとりできます。

MS-DOS プロンプト

Windows 上で MS-DOS プログラムを実行するための環境。また、MS-DOS が入力を受け付ける状態になっていることを指す場合もあります。

MS-DOS モード

すべてのシステム リソースを MS-DOS に割り当ててコンピュータを起動する環境。通常は、MS-DOS 用のゲームなど、Windows では実行できないプログラムを実行する場合に使います。この環境では、Windows アプリケーションは起動できません。

O

OLE

複数の Windows アプリケーションの間で情報をやりとりしたり、共有したりするための方法。

S

Safe モード

Windows の起動に最低限必要な設定やデバイス ドライバだけを使ってコンピュータを起動する方法。

T

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocol の略。世界中の大学、研究所、団体、企業などが接続しているインターネットで使われているプロトコル。

The Microsoft Network

Windows 95 からアクセスできる新しいオンライン サービス。世界中の人々とメッセージをやりとりしたり、最新のニュース、スポーツ情報、天気予報、金融情報などを入手したりできます。

TrueTypeフォント
拡大や縮小ができるフォントの一種。プリンタの機能によっては、ビットマップ フォントやソフトフォントとして生成されることがあります。また、画面表示とまったく同じイメージで印刷できます。

W

Windows アプリケーション
Windows 専用に開発され、Windows がなくては実行できないアプリケーション。多くの Windows アプリケーションでは、メニューの配置、ダイアログボックスの形、キーボードやマウスの使い方などが共通しています。

Windows エクスプローラ
コンピュータの中のファイルやフォルダの一覧を階層的に表示し、管理するための強力なツール。

あ

アイコン
アプリケーション、ディスク ドライブ、フォルダ、ドキュメントなど、Windows のいろいろな要素を表す小さな絵。

アクセス キー
画面に表示されているメニューやボタンをクリックする代わりに使うキー。メニューやボタンの名前の後ろに、かっこに囲まれて表示されている文字のキーを押します。

アクセス権
オブジェクト (通常は、フォルダ、ファイル、またはプリンタ) に関連付けられた規則で、オブジェクトにアクセスできるユーザーと、アクセスの方法を制御します。

アクティブ
現在使っているか、または選んでいるウィンドウやアイコンの状態。アクティブなウィンドウは、キーの入力やコマンドの実行の対象になります。アクティブなウィンドウのタイトルバーや、アクティブなアイコンのタイトルは、ほかと異なる色になります。

アプリケーション
文書を作る、絵を描くなど、特定の種類の作業に使うプログラム。「プログラム」と同じ意味に使われることもあります。

[アプリケーションから開く] コマンド
内容の表示に使うプログラムに関連付けられていないファイルを開くためのコマンド。関連付けられていないファイルをマウスの右ボタンでクリックすると、表示されます。

インターネット
世界各地の商用ネットワーク、教育ネットワーク、行政ネットワークが相互接続されている巨大なネットワーク。

ウィンドウ
アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の四角形の領域。ウィンドウは、開いたり、閉じたり、移動したりできます。また、ほとんどのウィンドウは、サイズを変えることができます。

埋め込み
あるアプリケーションで作った情報 (オブジェクト) を別のドキュメントに挿入すること。オブジェクトを埋め込むには、OLE 機能に対応しているアプリケーションを使う必要があります。

埋め込みオブジェクト
あるアプリケーションで作られ、別のドキュメントに挿入されている情報。埋め込みオブジェクトは、OLE 先のドキュメントからアプリケーションを起動して修正できます。

エクスプローラ
「Windows エクスプローラ」を参照してください。

オブジェクト
別のドキュメントにリンクしたり、埋め込んだりできる、Windows アプリケーションで作った情報。

オプション ボタン
ダイアログ ボックスに表示される小さな円形のボタン。関連するオプション ボタンのグループから、1 つだけを選択できます。

か

隠しファイル
隠しファイル属性が設定され、通常はファイルの一覧に表示されないファイル。

拡張子
ファイル名の後のピリオドに続く文字。通常は、ファイルやプログラムの種類を表します。

壁紙
デスクトップに表示する絵や写真。登録されている壁紙を選ぶか、または作画した絵やスキャナで取り込んだ写真など、独自のビットマップ ファイルを使うことができます。

関連付け
ファイル名の拡張子を特定のアプリケーションに対応付けること。関連付けられている拡張子の付いたファイルを開くと、対応するアプリケーションが自動的に起動します。

共有
フォルダやプリンタなどのリソースをネットワークのユーザーが使用できるようにすること。

共有フォルダ
ほかのコンピュータにあり、ネットワークを通じて使用できるように設定されているフォルダ。

共有プリンタ
ほかのコンピュータに接続され、ネットワークを通じて使用できるように設定されているプリンタ。"ネットワーク プリンタ" ともいいます。

共有リソース
ネットワークを通じて使用できるように設定されているフォルダ、ファイル、プリンタなど、ほかのコンピュータにある項目。

クイック ビューア
Windows ベースの主なアプリケーションで作成したファイルの内容を、プログラムを起動せずに表示する機能。

クライアント
ほかのコンピュータ (サーバー) から提供されるネットワークの共有リソースにアクセスするコンピュータ。

クリック
マウスのボタンを押してすぐに離すこと。

クリップボード
アプリケーション間でやりとりする情報を一時的に保管しておく場所。クリップボードに入っている情報は、別のドキュメントやアプリケーションに貼り付けることができます。

コマンド
ある作業を実行するために選択または入力する語句。

ごみ箱
削除したファイルを一時的に保管しておく場所。ごみ箱を使うと、誤って削除してしまったファイルを元に戻すことができます。

さ

[最近使ったファイル] コマンド
最近使ったことのある 15 個までのファイルを、一覧から選んで簡単に開くことができる [スタート] メニューのコマンド。

最小化
最小化ボタンを使ってウィンドウを最小化すること。最小化したウィンドウは、タスクバーのボタンとして表示されます。

最小化ボタン
ウィンドウを最小化するためのボタン。

最大化ボタン
ウィンドウを最大化するためのボタン。

サスペンド
コンピュータの電源を切らずに、コンピュータの働きを一時的に中断し、消費電力を節約する機能。コンピュータを元の状態に戻すと、以前の状態が復元されます。

ショートカット
よく使うプログラムやファイルに簡単にアクセスするための機能。たとえば、よく使うフォルダへのショートカットをデスクトップに置いておくと、マイ コンピュータや Windows エクスプローラを使わずに、目的のフォルダをデスクトップから直接開くことができます。

ショートカット キー
メニューを開かなくても、コマンドを実行できるキー、またはキーの組み合わせ。メニュー コマンドに対応するショートカット キーは、コマンド名の右に表示されます。たとえば、**Alt + F4** のショートカット キーを押すと、アクティブなアプリケーションが終了します。

ショートカット メニュー
マウスの右ボタンで項目をクリックしたときに表示されるメニュー。クリックした項目に対してよく使うコマンドが登録されています。

スキャンディスク
ハード ディスクのエラーをチェックし、問題が見つかったら、修復するプログラム。

スクラップ
ワードパッドなどの文書の一部分をデスクトップにドラッグしたときに作られるファイル。

スクリーン セーバー
一定の時間、マウスを動かしたり、キーを押したりしなかったときに、動画や模様を画面に表示するプログラム。スクリーン セーバーを使うと、画面の焼き付きを防止できます。

スクロール
ウィンドウの中に入りきらない情報を見るために、ウィンドウの内容を上下左右に動かすこと。

スクロールバー
ウィンドウの中に情報が入りきらない場合に、ウィンドウの右端や下端に表示されるバー。スクロールバーには、2 つの矢印ボタンと 1 つのつまみがあり、これらを使ってウィンドウの内容をスクロールできます。

スクロールバーのつまみ
ウィンドウの内容全体に対して、現在表示されている情報がどの部分にあたるかを示す、スクロールバーの中の小さな四角形。この四角形をドラッグすると、表示される部分が変わります。

スクロールバーの矢印ボタン
ウィンドウの内容をスクロールするときに使う、スクロールバーの両端の矢印。矢印ボタンをクリックすると、一度に1行ずつ情報がスクロールします。また、矢印ボタンの上にマウス ポインタを置き、マウスのボタンを押し続けると、連続的に情報がスクロールします。

[スタート] ボタン
プログラムの起動、ファイルの検索、ヘルプの表示などを簡単に行うことができるタスクバーのボタン。通常は、画面の左下に表示されています。

ステータスバー
ウィンドウの中のアプリケーションに関連する情報が表示される行。通常は、ウィンドウの下端にあります。ただし、すべてのウィンドウにあるわけではありません。

ソフトウェア
コンピュータのハードウェアで作業を実行できるようにするための命令の集まり。プログラム、オペレーティング システム、デバイス ドライバ、アプリケーションなどは、すべてソフトウェアです。

た

ダイアログ ボックス
コンピュータの設定や操作の確認のために、一時的に表示されるウィンドウ。

タイトルバー
ウィンドウやダイアログ ボックスの名前が表示される、ウィンドウの上端のバー。通常のウィンドウのタイトルバーには、閉じるボタン、最大化ボタン、最小化ボタン、およびコントロール メニュー ボックスが付いています。

ダイヤラー
モデムなどのテレフォニー デバイスを使って電話をかけるためのプログラム。よく使う電話番号を登録しておくと、すばやくダイヤルできます。

ダイヤルアップ ネットワーク
モデムを使ってほかのコンピュータに電話をかけ、そのコンピュータの共有リソース、またはそのコンピュータが接続されているネットワークにアクセスするためのプログラム。

ダウンロード
リモート コンピュータのファイルを自分のコンピュータにコピーすること。

多国語インジケータ
複数の日本語入力システムや言語がインストールされている場合に、タスクバーに表示されるインジケータ。クリックすると、使用する日本語入力システムなどを切り替えることができます。

タスクバー
デスクトップの下端に表示されているバー。プログラム、ファイル、ウィンドウなどを開くと、対応するボタンがタスクバーに表示されます。このボタンをクリックすると、簡単にウィンドウを切り替えることができます。

タブ
ダイアログ ボックスの中に複数の設定画面がある場合に表示されるシートの上端の、インデックスの形のつまみ。

ダブルクリック
マウス ポインタを移動せずに、マウスのボタンをすばやく2度押して離すこと。ダブルクリックは、アプリケーションの起動などに使います。

チェック ボックス
ダイアログ ボックスの中の小さな正方形で、オン (有効) とオフ (無効) を切り替えることができるオプションを表します。チェック ボックスをオンにすると、ボックスの中に印が付きます。

通常使うプリンタ
アプリケーションでプリンタを指定せずに、[印刷] コマンドを実行したときに使われるプリンタ。通常使うプリンタとして設定できるプリンタは、1 つだけです。最も頻繁に使うプリンタを指定してください。

テキスト エディタ
テキスト ファイルの作成、表示、修正などに使うアプリケーション。メモ帳など。

テキスト ファイル
文字、数字、および記号だけが入っているファイル。改行 (LF) と復帰 (CR) 以外の制御コードは入っていません。テキスト ファイルは、ASCII ファイルです。

テキスト ボックス
ダイアログ ボックスで、文字を入力するボックス。ダイアログ ボックスを開いたときに、空白の場合もあれば、既に情報が指定されている場合もあります。

デスクトップ
Windows を起動したときに、画面全体に表示される領域。よく使うプログラム、ファイル、プリンタなどへのショートカットを置いたり、デザインを変えたりできます。

デバイス ドライバ
周辺機器と Windows の間でデータをやりとりできるようにするプログラム。

デフラグ
ディスクのファイルと空き領域を効果的に再配置し、ディスクを最適化するプログラム。最適化すると、ディスク アクセスの速度が向上し、ファイルをすばやく開けるようになります。

電子メール
ネットワークを通じてメッセージやファイルを送受信できるサービス。MSN メンバーや、インターネットに接続しているユーザーにもメール メッセージを送信できます。

ドキュメント
文書、絵、サウンド、表計算のシートやブックなど、アプリケーションで作られた内容で、ユーザーが入力、編集、表示、保存などを行うことができるもの。

閉じるボタン
ウィンドウを閉じるためのボタン。すべてのウィンドウの右上隅にあります。

ドッキング ステーション
ポータブル コンピュータの機能を補う外部機器。ドッキング ステーションに取り付けられているときと、取り付けられていないときで異なる設定を使う場合は、自動的に環境が検出され、正しい設定が使われます。

ドメイン
ネットワークに接続されているコンピュータのグループで、グループ名が付いています。ドメインには、複数の小規模なグループが含まれることがあります。このグループを "ワークグループ" といいます。

ドライブスペース
ドライブを圧縮し、ハード ディスクの空き領域を増やすプログラム。

ドライブ名
ドライブに割り当てられている文字。"A" や "C" など。

ドラッグ
マウスのボタンを押したまま、マウスを動かし、画面上で項目を移動すること。たとえば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグすると、ウィンドウを別の場所に移動できます。

な

長いファイル名
8 文字のファイル名と 3 文字の拡張子という制限がなくなり、255 文字まで使えるようになった新しいファイル名の形式。

日本語入力インジケータ
日本語入力システムがインストールされている場合に、タスクバーに表示されるペンの形のインジケータ。クリックすると、日本語入力モードのオン/オフを切り替えることができます。

ネット ウォッチャー
自分のコンピュータや、リモート管理されているほかのコンピュータの共有リソースの使用状況を調べることができるプログラム。

ネットワーク
一群のコンピュータをケーブルなどの手段で互いに接続し、装置 (プリンタやディスク ドライブなど) を共有したり、情報をやりとりしたりできるようにしたもの。

ネットワーク コンピュータ
コンピュータがネットワークに接続されている場合に、ネットワークで使用できるリソースの一覧を表示するためのツール。デスクトップのアイコンとして表示されます。

ネットワーク サーバー
ファイルとプリンタの共有などのサービスを、ネットワーク経由でほかのコンピュータに提供するコンピュータ。

ネットワーク ドライブ
ネットワークの複数のユーザーが使用できるディスク ドライブ。

は

ハードウェア
キーボード、マウス、ディスク ドライブ、ディスプレイなど、コンピュータ システムを構成する装置。

ハードウェア ウィザード
新しいハードウェアを対話式でインストールするためのプログラム。

ハードウェア環境
使用できるハードウェアが変わったときでも、正しいドライバを読み込むことができるようにする機能。たとえば、ポータブル コンピュータで使用できるハードウェアは、ドッキング ステーションに取り付けられているときと、取り付けられていないときで異なります。このような場合、適切なハードウェア環境を用意しておくと、必要なドライバだけが読み込まれます。[システムのプロパティ] ダイアログ ボックスで設定します。

ハイパー ターミナル
リモート コンピュータや、商用ネットワークなどのオンライン サービスに接続するためのプログラム。

バインド
プロトコル ドライバとネットワーク アダプタ ドライバの間で通信を確立するプロセス。

パス
プログラムやファイルなどがコンピュータやネットワークのどこにあるかを直接指定する方法。パスには、ファイル名のほかに、ファイルが保存されているドライブ、フォルダ、およびサブフォルダを指定します。

バックアップ
ハード ディスクのファイルをフロッピー ディスク、テープ ドライブ、またはネットワーク上のコンピュータにバックアップするプログラム。

パラメータ
アプリケーションを起動するときにコマンドに追加する情報。

ビットマップ
ドット (点) のパターンとして記録された絵。ペイントで作った絵は、ビットマップとして保存されます。

標準設定
ユーザーが設定を変える前に、Windows で決められている設定。たとえば、余白を指定せずにドキュメントを印刷すると、あらかじめ決められている標準設定に従って印刷されます。

開く
フォルダやドキュメントの内容をウィンドウに表示し、作業できるようにすること。

ファイル転送
電話で話をしながら、電話を切らずに相手にファイルを送信できるプログラム。VoiceView に対応しているモデムを使います。

[ファイル名を指定して実行] コマンド
マイ コンピュータや Windows エクスプローラを使わずに、プログラムやファイルの名前を直接入力して起動できる [スタート] メニューのコマンド。

フォーマット
ディスクを使う準備として、ディスクに情報を保存できるようにすること。ディスクをフォーマットすると、それまでディスクに保存されていた情報は、すべて消去されます。

フォルダ
ディスク上のファイルやプログラムをまとめて保存しておく場所。ファイル フォルダのアイコンとして表示されます。以前のバージョンの Windows や MS-DOS では、"ディレクトリ" といいました。

フォント
数字、記号、および文字に適用される 1 組のデザインのセット。通常は、いろいろなサイズとスタイルを使用できます。

プラグ アンド プレイ
特別な設定を行わなくても、コンピュータにハードウェアを装着するだけで、自動的にコンピュータとハードウェアの動作環境が設定され、すぐに使用できる状態になる機能。

ブリーフケース
オフィスと自宅で別のコンピュータを使っている場合などに、ファイルを常に最新の状態に保つために便利なプログラム。

プリンタ ドライバ
コンピュータとプリンタの間のやりとりを仲介するプログラム。印刷に使うインターフェイス、フォントの詳細、インストールされているプリンタの機能などの情報を Windows に提供します。

プリンタ フォント
プリンタの内蔵フォント。通常は、プリンタの ROM (読み出し専用メモリ) に収められています。

フルアクセス
共有の設定の種類の 1 つで、共有するファイルやフォルダに対して、ほかのユーザーが変更、追加、削除のいずれもできるように設定すること。

プロトコル
ネットワークを通じて情報をやりとりするときにコンピュータが使う言葉。2 台のコンピュータが通信するためには、両方が同じプロトコルを使う必要があります。

プロパティ
ファイル、プログラム、フォルダ、プリンタなどに設定されている属性や情報。プロパティを表示するには、目的の項目をマウスの右ボタンでクリックし、[プロパティ] をクリックします。

ペイント
絵の作成、編集、表示などに使うプログラム。Windows Version 3.1 のペイントブラシに相当しますが、ツール ボックスや印刷プレビューなどの機能が強化されています。

ポイント (マウス)
マウスを動かし、選択する項目の上にマウス ポインタを置くこと。

方向キー
コンピュータのキーの一種で、画面の中を移動するときに使うキー。それぞれのキーに矢印が付いています。

ポート
プリンタ、モニター、モデムなどのデバイスをコンピュータに接続するために使うコネクタやソケット。情報は、コンピュータからケーブルを通じてデバイスに送られます。

ボタン
ダイアログ ボックスの中のボタンの絵。選択した動作を実行したり、キャンセルしたりします。代表的なボタンには、[OK] と [キャンセル] があります。"..." が付いているボタン ([参照...] など) をクリックすると、別のダイアログ ボックスが表示されます。

ボリューム コントロール
サウンド カードのスピーカー、マイク、CD-ROM ドライブなど、いろいろなサウンド デバイスの音量を調整するプログラム。

ま

マイ コンピュータ
自分のコンピュータの中のファイルやフォルダなど、すべての項目の一覧を表示し、管理するためのツール。デスクトップのアイコンとして表示されます。

マウス ポインタ
マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印のマーク。操作の対象を指定するために使います。アプリケーションによっては、矢印以外の形に変わることもあります。

マルチタスク
同時に複数のアプリケーションを実行できるコンピュータの機能。

メニュー
ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名は、ウィンドウの上部のメニューバーに表示されます。メニュー名をクリックすると、メニューが開きます。

メニューバー
すべてのメニュー名が表示されるウィンドウの上部のバー。タイトルバーの下に表示されます。

メモリ
情報とプログラムの一時的な記憶場所。

モデム
コンピュータから電話回線経由で情報を送受信できるようにする通信装置。

模様
デスクトップの装飾に使う図案。登録されている模様を選ぶか、または修正して使うことができます。

ユーザー補助機能
体の不自由な方のために用意されているいろいろな機能。たとえば、キーボードでマウス ポインタを動かしたり、キーボードの設定を調整したりできます。

ら

リソース
ディスク ドライブ、プリンタ、メモリなど、コンピュータ システムやネットワークの中で、実行時にプログラムやプロセスに割り当てることができる資源。

リッチ テキスト形式 (rtf)
文書の標準形式の 1 つ。すべての書式を保存でき、いろいろなプログラムで文書を表示できます。

リモート管理
システム管理者が別のコンピュータからネットワークを通じて、あるコンピュータを管理すること。あらかじめコンピュータを設定しておくと、そのコンピュータのファイルをシステム管理者が見たり、問題が起きたときに別のコンピュータから解決したりできます。

リンク オブジェクト
OLE 先のドキュメントにリンク貼り付けされているオブジェクト。実際のオブジェクトは、リンク元のドキュメントにあります。元のオブジェクトが変更されると、リンク オブジェクトも更新され、最新の内容になります。

レジストリ
コンピュータがどのように動作するかという設定情報が登録されているデータベース。

わ

ワードパッド
文書の作成と編集に使うワード プロセッサ。フォントを自由に選択できます。また、基本的な操作をツールバーから簡単に実行できます。

ワイルドカード
1 つまたは複数の文字を表す文字。ワイルドカードとして疑問符 (?) を使うと、任意の 1 文字を表すことができます。また、アスタリスク (*) を使うと、任意の文字または文字列を表すことができます。ファイルの検索などにワイルドカードを使うと、特定のファイルを効率的に検索できます。

割り込み番号 (IRQ)
情報を送受信する準備ができたことをデバイスからプロセッサに通知する信号を送るハードウェア ラインの番号。通常、コンピュータに接続されているデバイスは、それぞれ別の IRQ を使います。

索引

記号/数字

A

B

C

F

L

M

N

P

S

T

W

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

本製品に関するご質問は、ハードウェア製造会社または、販売元へお問合せ下さい。
表紙に貼付されているCertificate of Authenticity上のホログラムと
ステッカーは、マイクロソフトの真正商品であることを証明するものです。

000-33525OEM

Microsoft